

資料1 - 1

津山市まちづくり調査結果報告書

平成27年8月

津山市総合企画部政策調整室

調査の概要

1 調査の目的

津山市第5次総合計画策定にあたっての基礎資料とするために、市の行っている施策に対して満足度と重要度を調査した。

2 調査の方法

調査対象:平成27年6月1日現在に住民基本台帳に登録されている20歳以上の男女3,000名

抽出方法:無作為抽出

調査方法:郵送

調査期間:平成27年6月16日(火)～平成27年7月9日(木)

3 回収結果

標本数:3,000

回収数:973(回収率32.4%)

4 報告書の見方

(1)集計は、小数点第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。

(2)回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出している。

(3)本文や図表中の表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

5 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団(津山市在住の20歳以上の男女)から一部を抽出した標本(サンプル)の比率等から母集団の比率等を推測する「標本調査」を行っている。

全体を対象に行っていないため、母集団に対する標本誤差が生じることがある。なお、標本誤差は、次式により統計学的に得られ、比率算出基数(n)、回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

標本誤差算出式

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

N = 母集団(津山市の20歳以上人口)
n = 比率算出の基数(回答者数)
p = 回答の比率(%)

(注) $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$

ある設問の回答者数が、973名であり、その設問中の選択肢の回答率が90%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも±1.92%ということを表している。

回答の比率(p) 基数(n)	90%または10%程度	80%または20%程度	70%または30%程度	60%または40%程度	50%程度
973	±1.92	±2.56	±2.94	±3.14	±3.21
800	±2.12	±2.83	±3.24	±3.46	±3.54
600	±2.45	±3.27	±3.74	±4.00	±4.08
400	±3.00	±4.00	±4.58	±4.90	±5.00
200	±4.24	±5.66	±6.48	±6.93	±7.07

この表の計算式の信頼度は95%である。

5 満足度・重要度の算出方法

「そう思う」5点、「まあそう思う」4点、「どちらでもない」3点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」1点とし、各回答数に乘じた値を、回答総数から、「わからない」と無回答を引いた数で除し、算出された値を100点換算し、満足度(重要度)とした。

$$\text{満足度} = \frac{5 \times \text{「そう思う」} + 4 \times \text{「まあそう思う」} + 3 \times \text{「どちらでもない」} + 2 \times \text{「あまりそう思わない」} + 1 \times \text{「そう思わない」}}{\text{回答総数} - (\text{「わからない」} + \text{無回答})} \times 20$$

重要度は、重要度の質問項目に読み替える。

集計結果

1 属性等	
(1)性別	……… p3
(2)年代	……… p3
(3)小学校区	……… p4
(4)世帯構成	……… p5
(5)職業	……… p6
(6)子どもの数	……… p7
(7)子どもの年代	……… p8
(8)住宅種別	……… p9
(9)住んでいる経緯	……… p10
(10)定住意向	……… p11
2 各施策ごとの満足度・重要度の回答割合	……… p12～p17
3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果	……… p18～p24
4 満足度・重要度の評価点の比較と差	……… p25
5 満足度・重要度相関図	……… p26

集計結果等からの考察

1 満足度

満足度全体の評価点の平均は、55.3点である。

評価点の高い施策は、「79.3点 水道の整備」、「66.7点 幼児教育・保育の充実」、「66.3点 生活環境の保全」である。

評価点の低い施策は、「33.6点 中心市街地の活性化」、「39.2点 農業の振興」、「39.4点 企業誘致と雇用の確保」である。

2 重要度

重要度全体の評価点の平均は、83.1点である。

評価点の高い施策は、「93.0点 医療体制の充実」、「92.2点 子育て支援の充実、幼児教育・保育の充実」である。

評価点の低い施策は、「67.4点 水産業の振興」、「71.3点 国際交流、地域間交流の推進」、「74.6点 芸術文化活動の充実」である。

3 満足度と重要度の比較

満足度と重要度を比較することで、改善、強化、充実すべき施策を絞り込むことができる。

全体の評価点の平均の差は、27.8点である。

差の大きな施策は、「46.1点 企業誘致と雇用の確保」、「43.1点 中心市街地の活性化」、「43.0点 地域内就職の促進」である。

差の小さな施策は、「12.8点 水道の整備」、「12.9点 地域活動の推進」、「13.8点 演習場対策」である。

4 全体的なまとめ

今回の調査は、市の55の施策について、「満足しているか?」また、「重要であるか?」という視点で行った。

回答結果を数値化し、満足度、重要度とし、相対的に比較したところ、全体的な傾向としては、市民の評価は、市の行う施策は、「重要である」という結果となった。

特に、「子育て支援に関すること」、「生活環境に関すること」、「医療・福祉に関すること」については、高い数値を示している。

一方で、満足度については、重要度と同様に、「子育て・教育に関すること」、支え合いに係る「医療・福祉に関すること」は高い評価となったが、「雇用」や「定住推進」につながる経済活動全般的な施策に対するものの評価は、低い結果となっており、産業振興施策の強化が求められている。

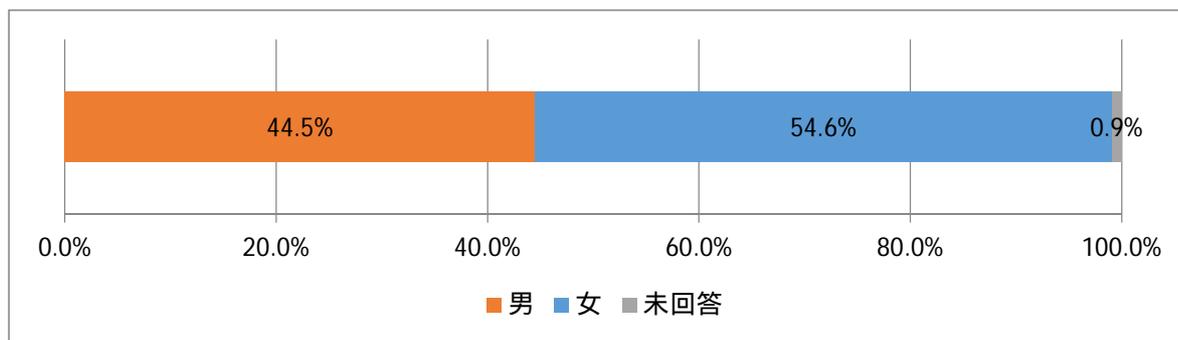
総合的に考察した結果、津山市の強みは、「住みやすさ」、「環境のよさ」、「医療・福祉」であり、弱みは、「雇用とにぎわいの創出」である。

集計結果

1 属性等

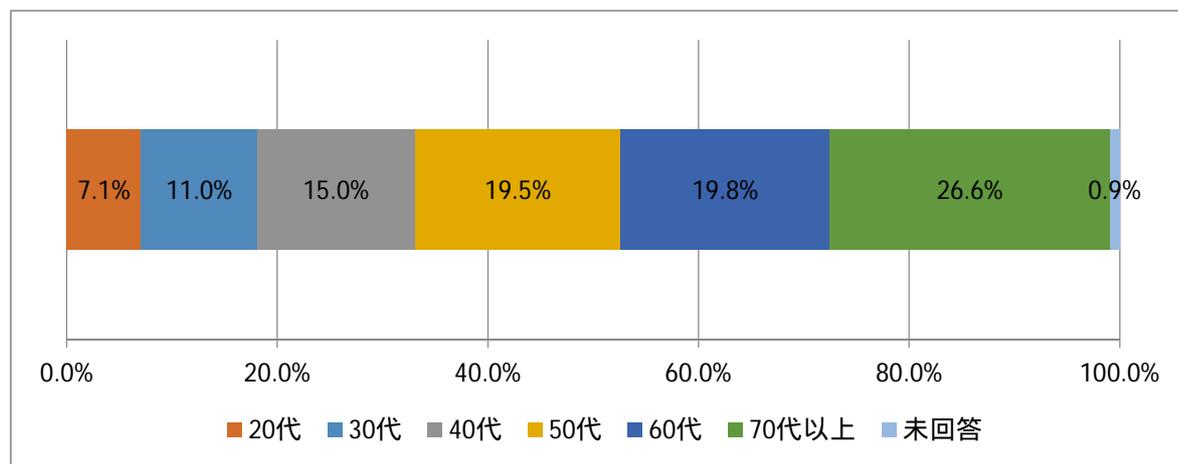
(1) 性別

番号	性別	人数	割合
1	男	433	44.5%
2	女	531	54.6%
	未回答	9	0.9%
	計	973	100.0%



(2) 年代

番号	年代	人数	割合
1	20代	69	7.1%
2	30代	107	11.0%
3	40代	146	15.0%
4	50代	190	19.5%
5	60代	193	19.8%
6	70代以上	259	26.6%
	未回答	9	0.9%
	計	973	100.0%

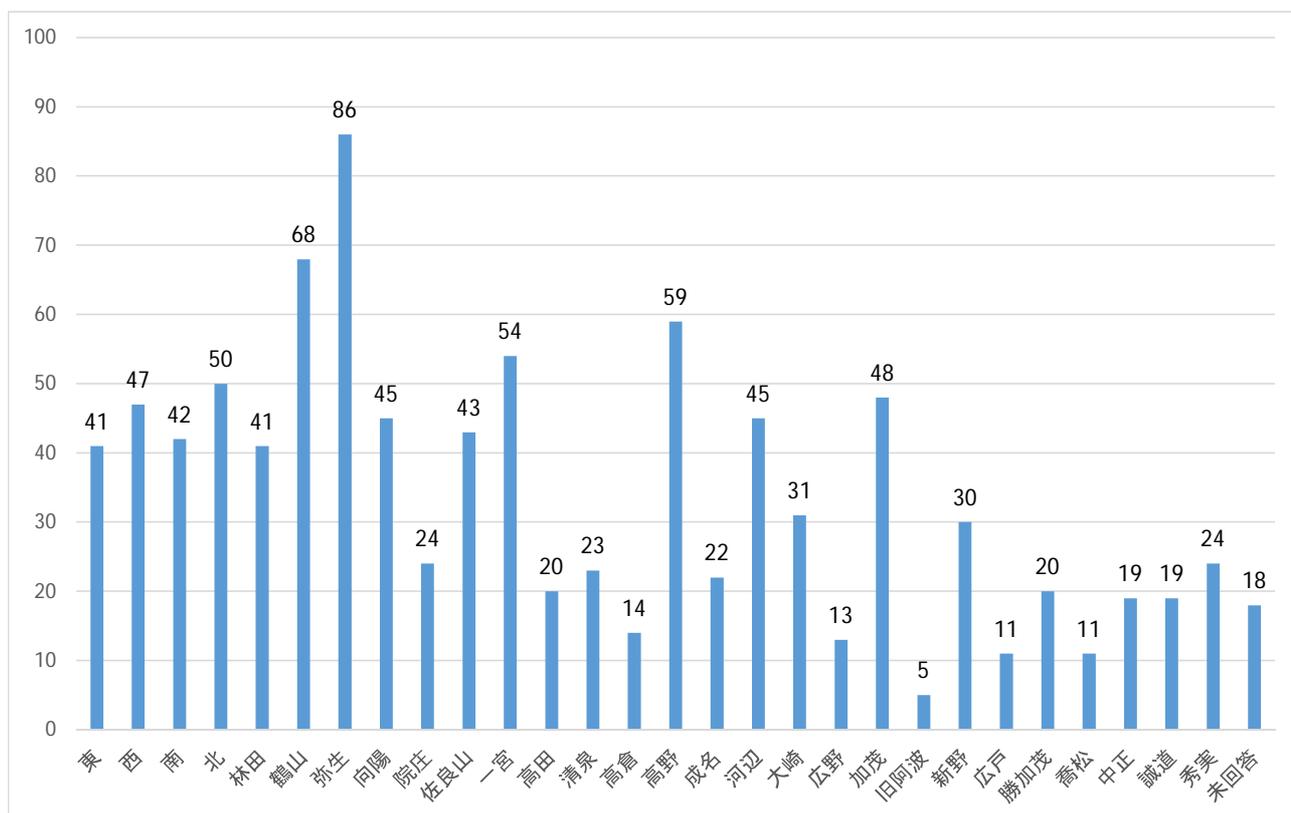


集計結果

1 属性等

(3) 小学校区

番号	小学校区	人数	割合
1	東	41	4.2%
2	西	47	4.8%
3	南	42	4.3%
4	北	50	5.1%
5	林田	41	4.2%
6	鶴山	68	7.0%
7	弥生	86	8.8%
8	向陽	45	4.6%
9	院庄	24	2.5%
10	佐良山	43	4.4%
11	一宮	54	5.5%
12	高田	20	2.1%
13	清泉	23	2.4%
14	高倉	14	1.4%
15	高野	59	6.1%
16	成名	22	2.3%
17	河辺	45	4.6%
18	大崎	31	3.2%
19	広野	13	1.3%
20	加茂	48	4.9%
21	旧阿波	5	0.5%
22	新野	30	3.1%
23	広戸	11	1.1%
24	勝加茂	20	2.1%
25	喬松	11	1.1%
26	中正	19	2.0%
27	誠道	19	2.0%
28	秀実	24	2.5%
29	未回答	18	1.8%
	計	973	100.0%

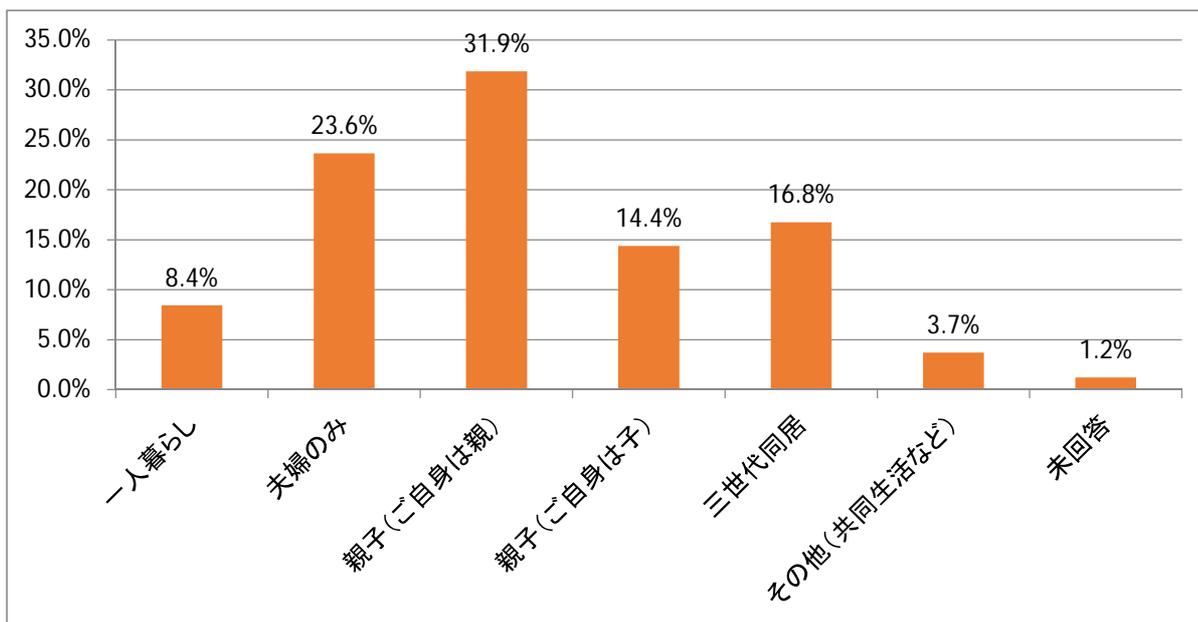


集計結果

1 属性等

(4) 世帯構成

5	世帯構成	人数	割合
1	一人暮らし	82	8.4%
2	夫婦のみ	230	23.6%
3	親子(ご自身は親)	310	31.9%
4	親子(ご自身は子)	140	14.4%
5	三世帯同居	163	16.8%
6	その他(共同生活など)	36	3.7%
	未回答	12	1.2%
	計	973	100.0%

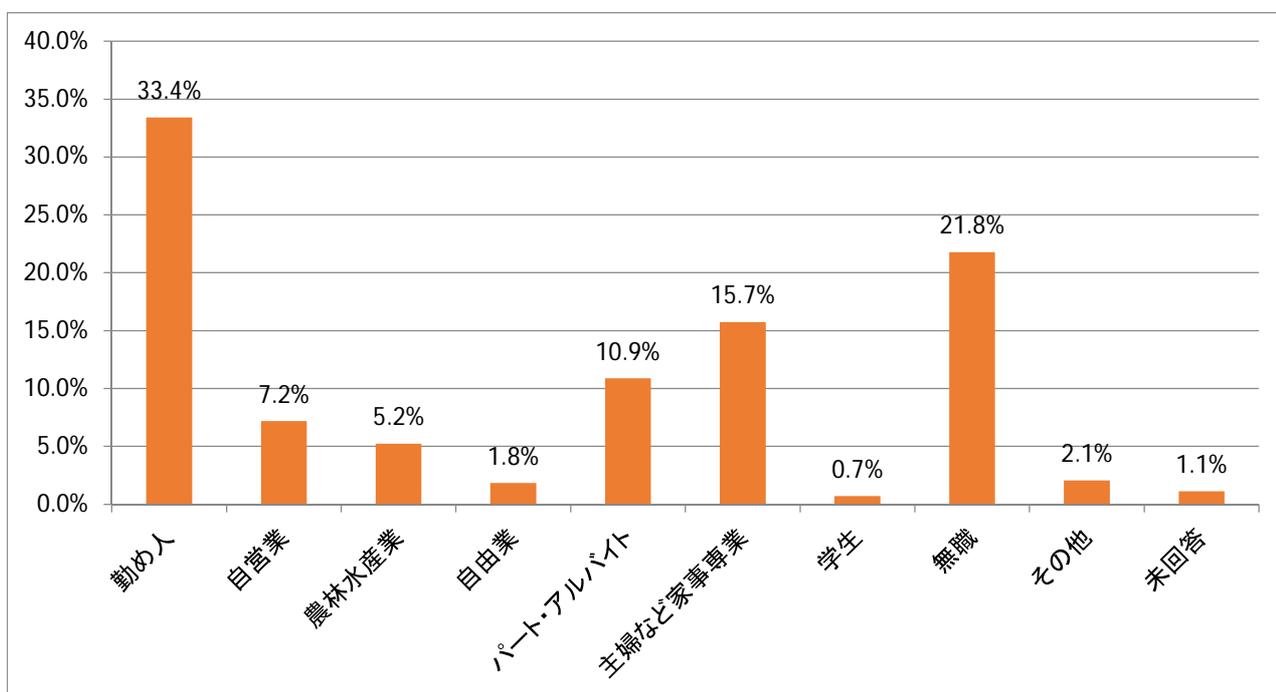


集計結果

1 属性等

(5) 職業

番号	職業	人数	割合
1	勤め人	325	33.4%
2	自営業	70	7.2%
3	農林水産業	51	5.2%
4	自由業	18	1.8%
5	パート・アルバイト	106	10.9%
6	主婦など家事専業	153	15.7%
7	学生	7	0.7%
8	無職	212	21.8%
9	その他	20	2.1%
	未回答	11	1.1%
	計	973	100.0%



「自由業」は、医者、デザイナー等である。

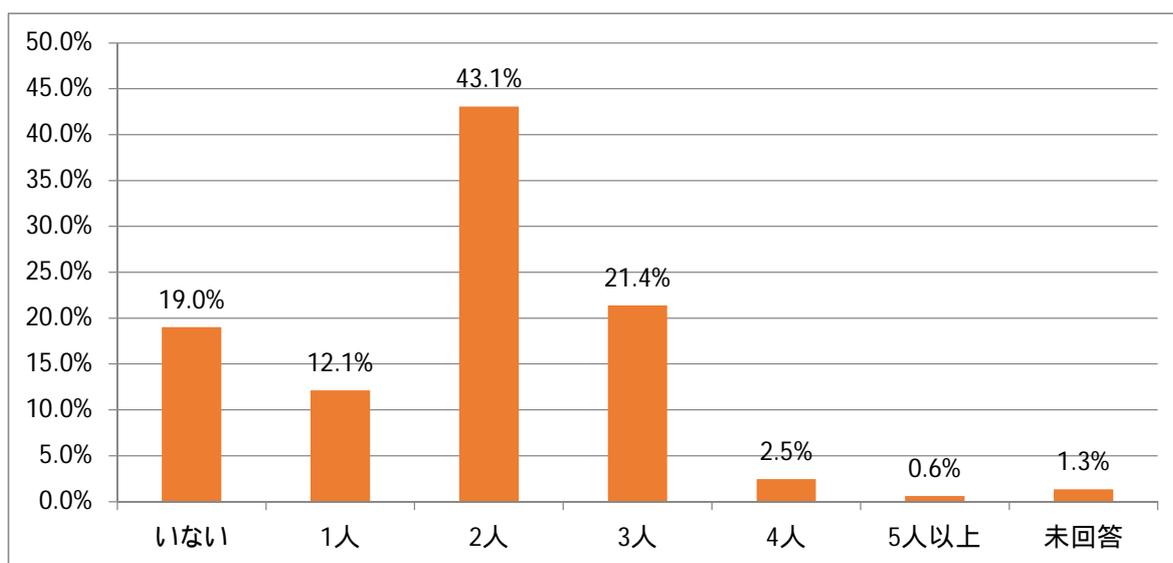
「その他」は、団体役員、看護師、弁護士等である。

集計結果

1 属性等

(6) 子どもの数

番号	子どもの数	人数	割合
1	いない	185	19.0%
2	1人	118	12.1%
3	2人	419	43.1%
4	3人	208	21.4%
5	4人	24	2.5%
6	5人以上	6	0.6%
	未回答	13	1.3%
	計	973	100.0%

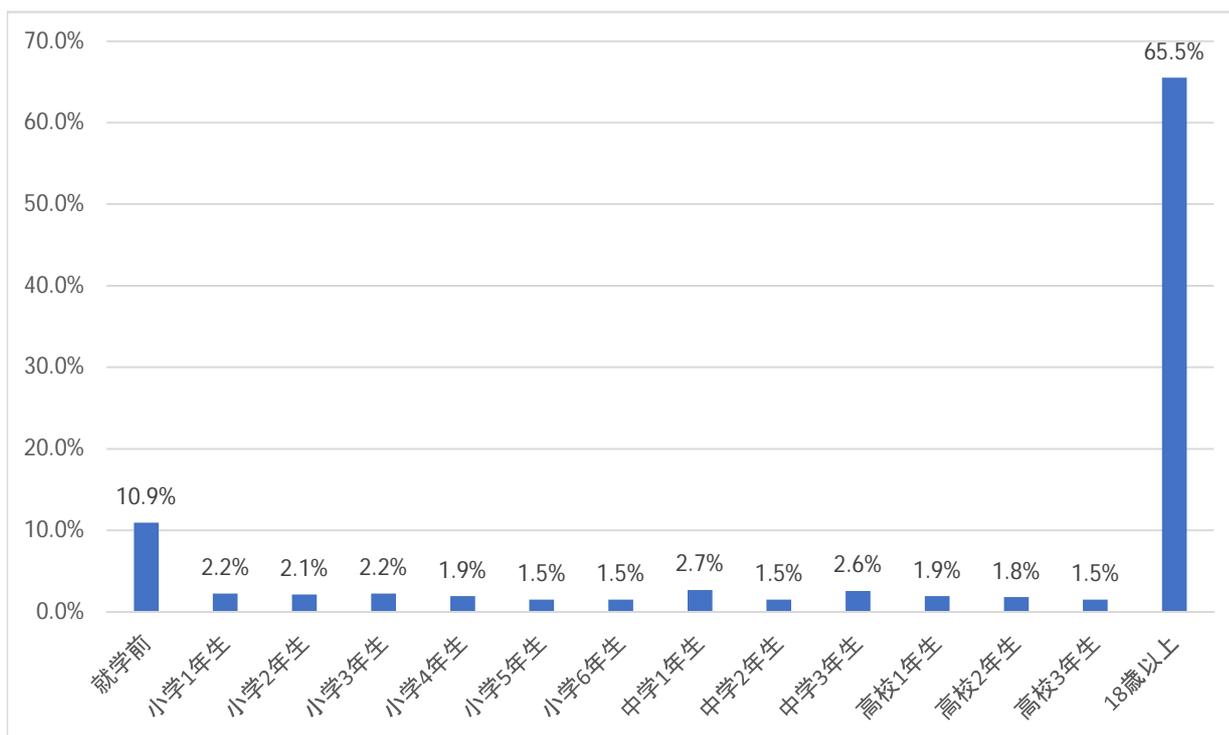


集計結果

1 属性等

(7)子どもの年代

番号	子どもの年代	計	割合
1	就学前	102	10.9%
2	小学1年生	21	2.2%
3	小学2年生	20	2.1%
4	小学3年生	21	2.2%
5	小学4年生	18	1.9%
6	小学5年生	14	1.5%
7	小学6年生	14	1.5%
8	中学1年生	25	2.7%
9	中学2年生	14	1.5%
10	中学3年生	24	2.6%
11	高校1年生	18	1.9%
12	高校2年生	17	1.8%
13	高校3年生	14	1.5%
14	18歳以上	612	65.5%
	計	934	100.0%

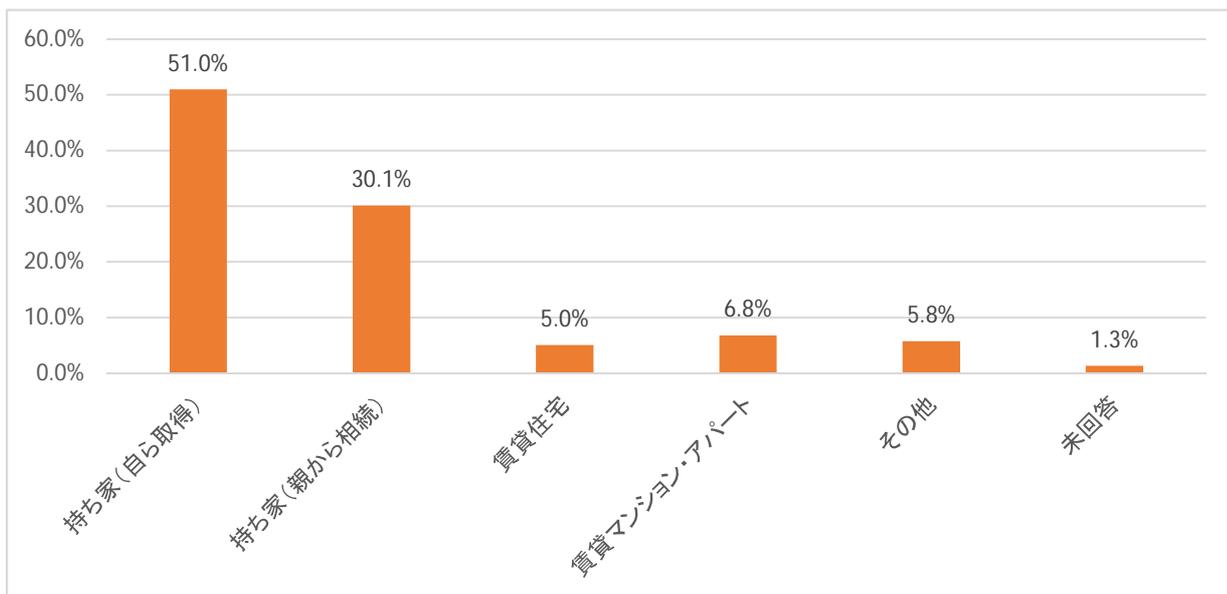


集計結果

1 属性等

(8)住宅種別

番号	住宅種別	人数	割合
1	持ち家(自ら取得)	496	51.0%
2	持ち家(親から相続)	293	30.1%
3	賃貸住宅	49	5.0%
4	賃貸マンション・アパート	66	6.8%
5	その他	56	5.8%
	未回答	13	1.3%
	計	973	100.0%



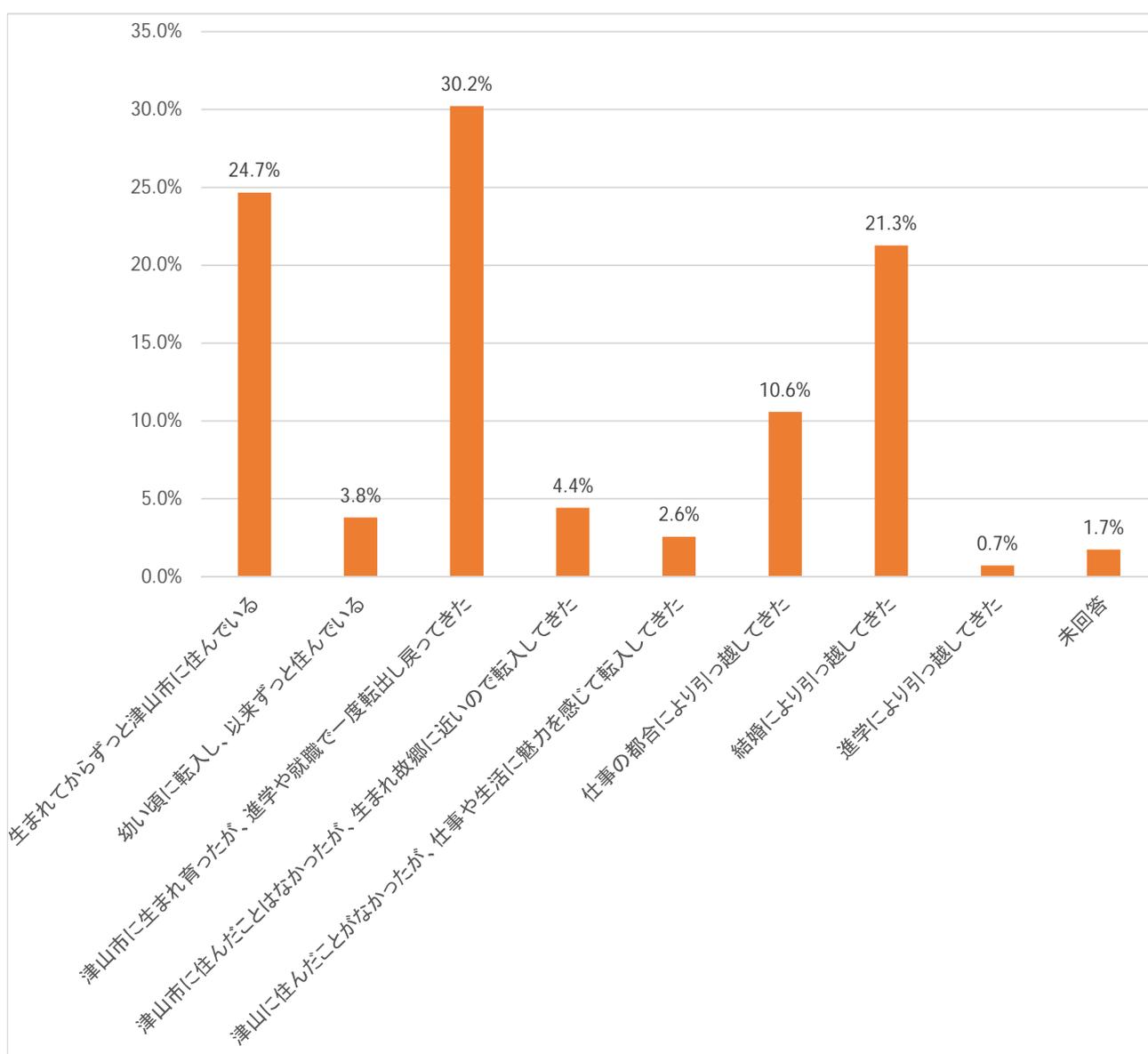
「その他」は、親の持家等である。

集計結果

1 属性等

(9)住んでいる経緯

番号	経緯	人数	割合
1	生まれてからずっと津山市に住んでいる	240	24.7%
2	幼い頃に転入し、以来ずっと住んでいる	37	3.8%
3	津山市に生まれ育ったが、進学や就職で一度転出し戻ってきた	294	30.2%
4	津山市に住んだことはなかったが、生まれ故郷に近いので転入してきた	43	4.4%
5	津山に住んだことがなかったが、仕事や生活に魅力を感じて転入してきた	25	2.6%
6	仕事の都合により引っ越してきた	103	10.6%
7	結婚により引っ越してきた	207	21.3%
8	進学により引っ越してきた	7	0.7%
	未回答	17	1.7%
	計	973	100.0%

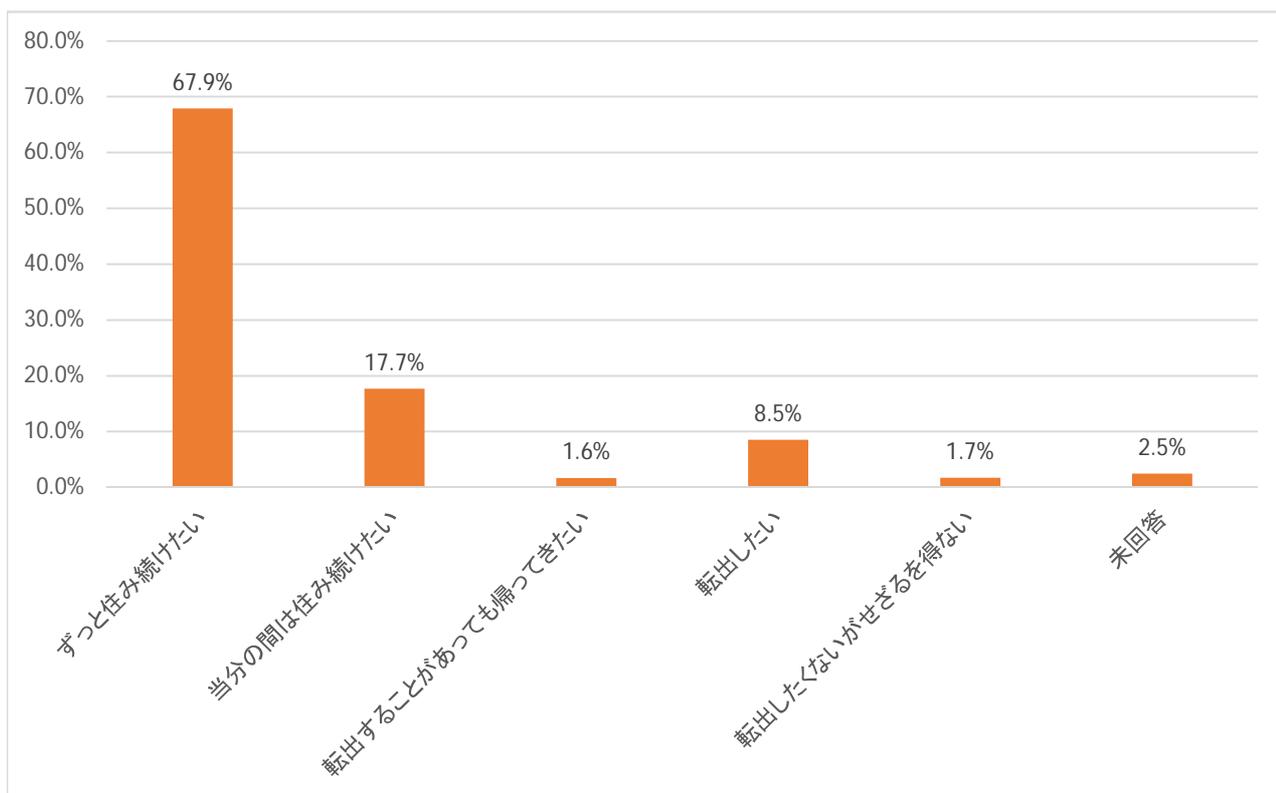


集計結果

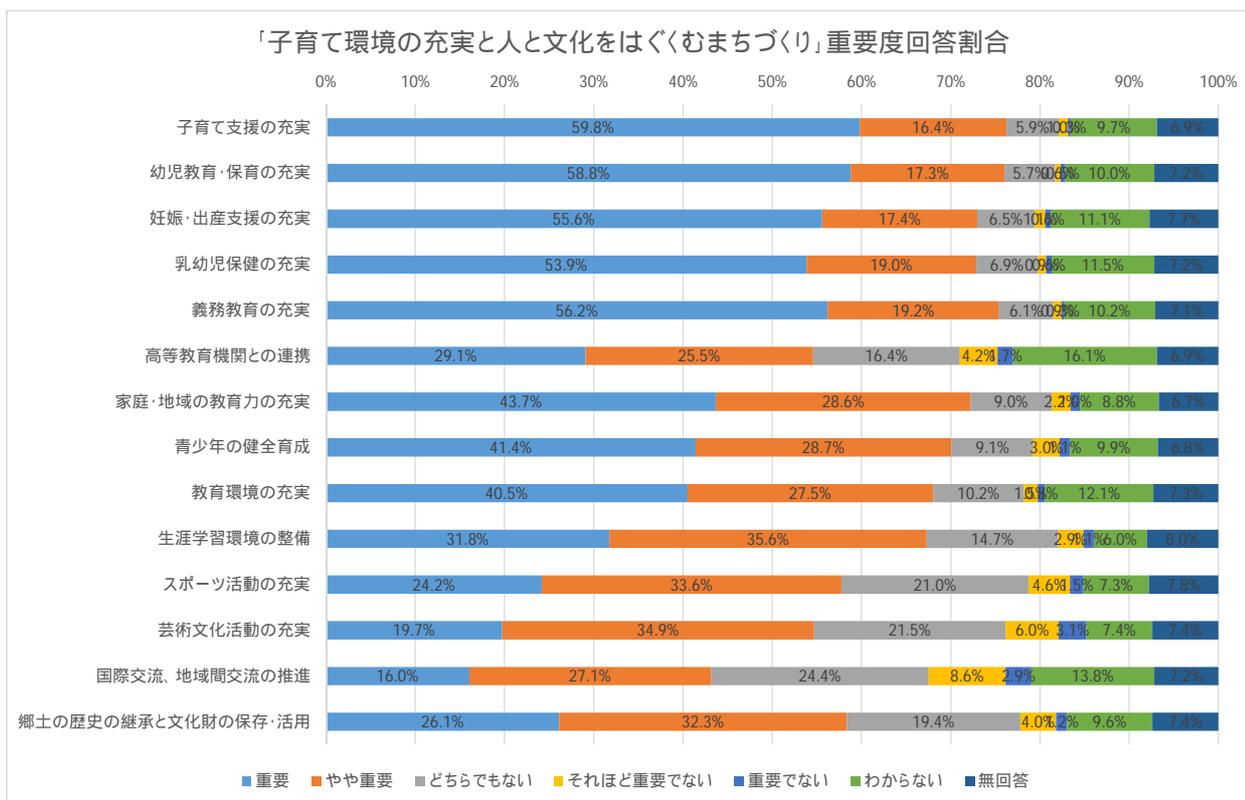
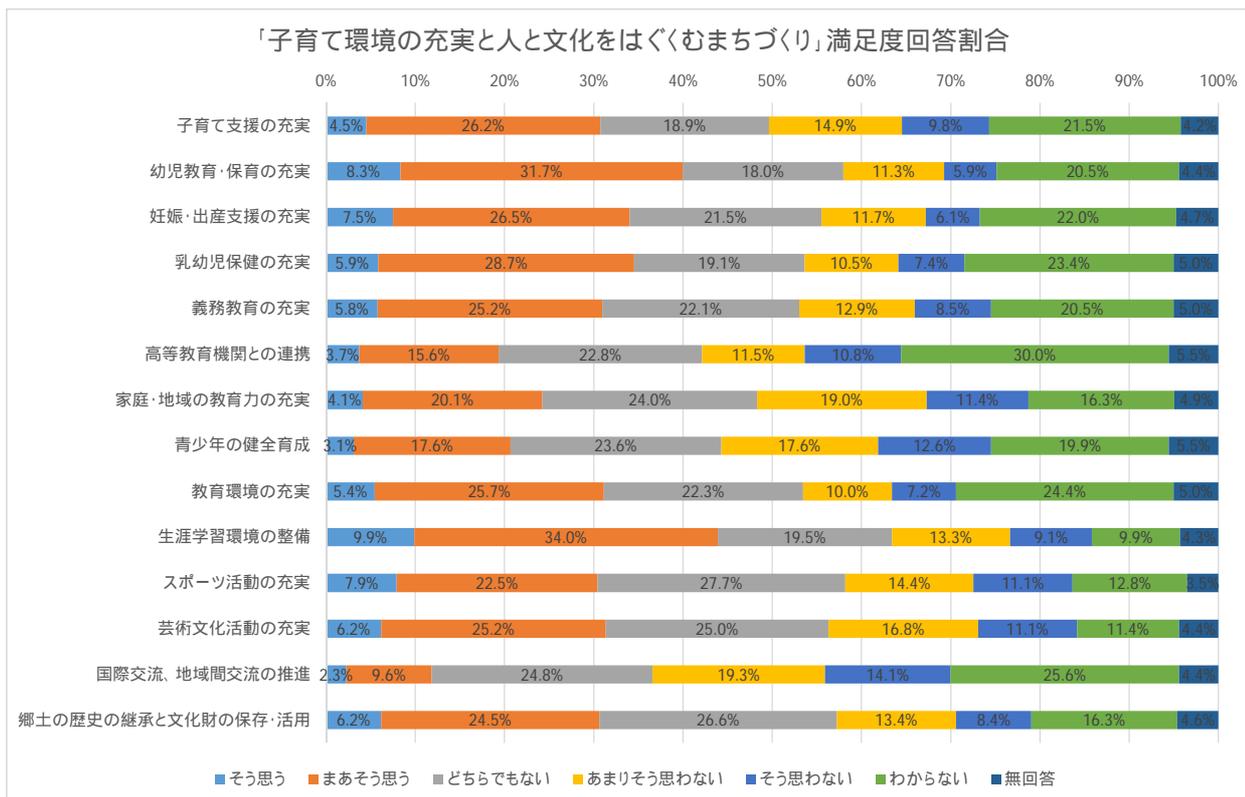
1 属性等

(10) 定住意向

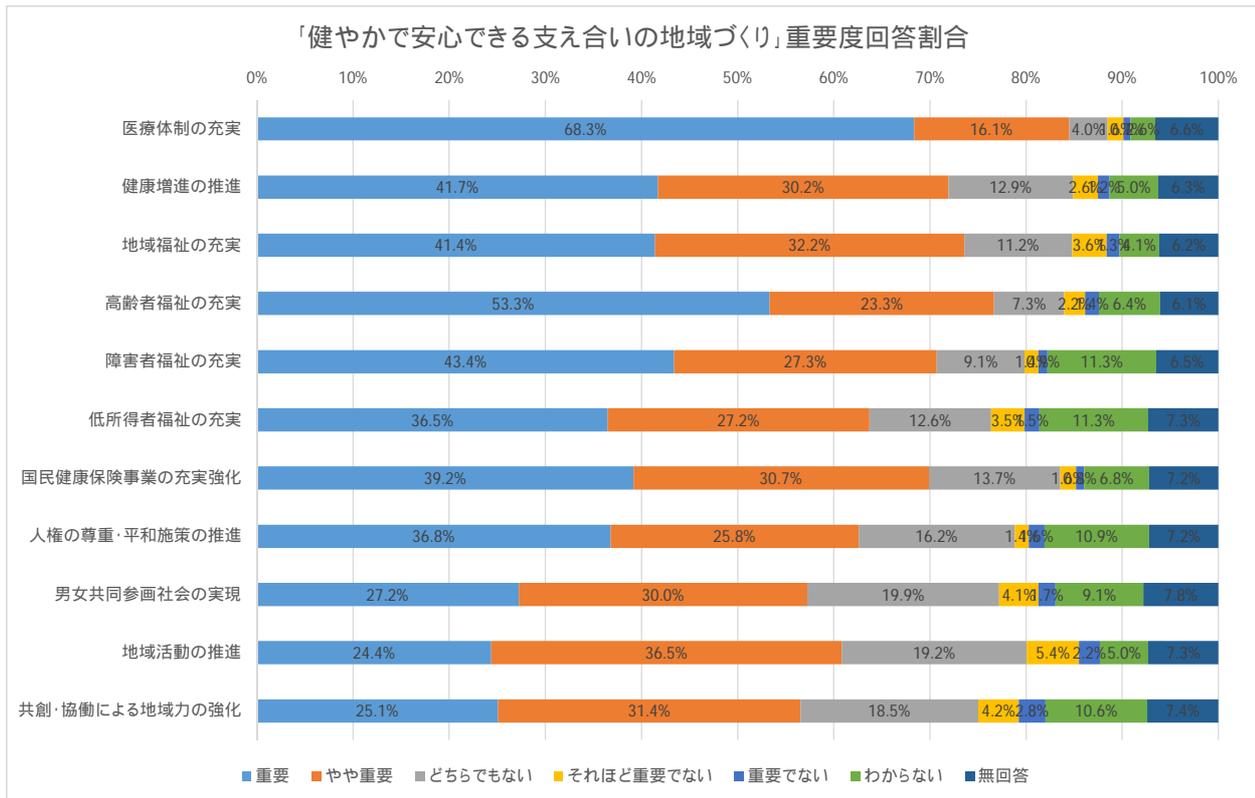
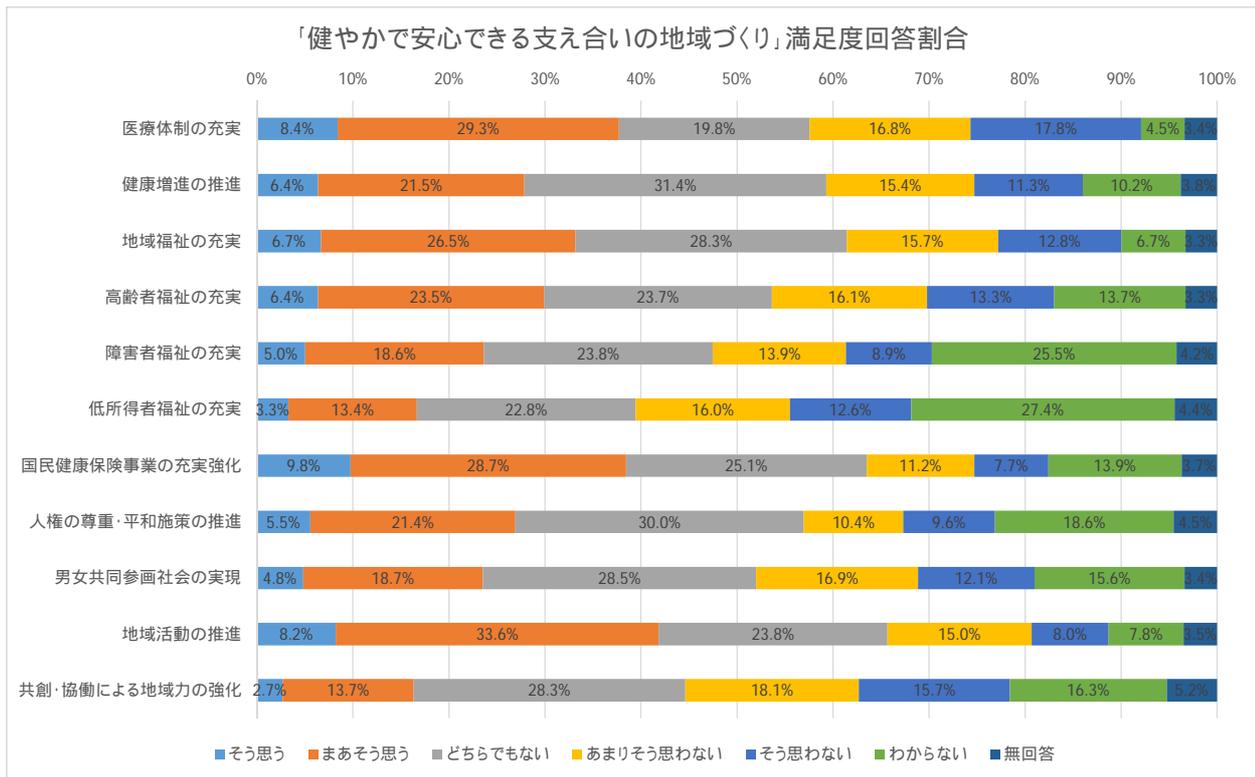
番号	住み続けたい	人数	割合
1	ずっと住み続けたい	661	67.9%
2	当分の間は住み続けたい	172	17.7%
3	転出することがあっても帰ってきたい	16	1.6%
4	転出したい	83	8.5%
5	転出したくないがせざるを得ない	17	1.7%
	未回答	24	2.5%
	計	973	100.0%



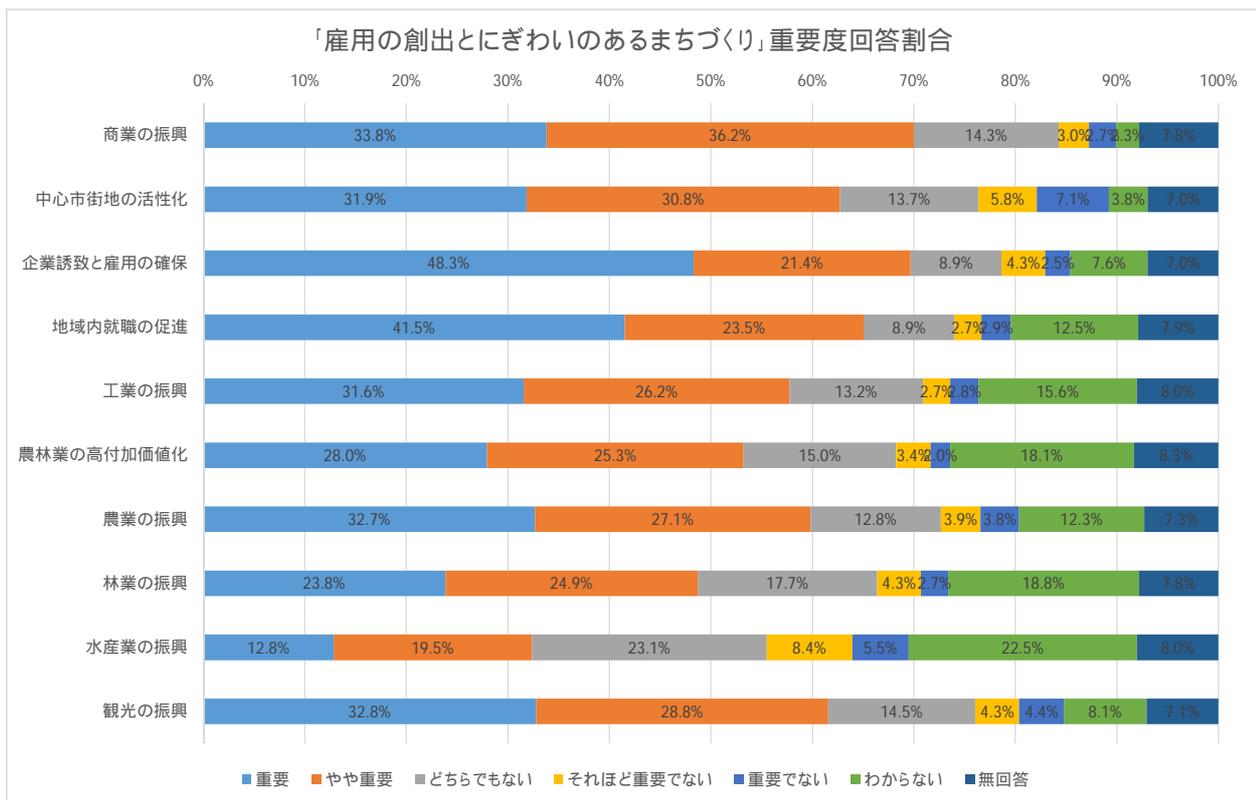
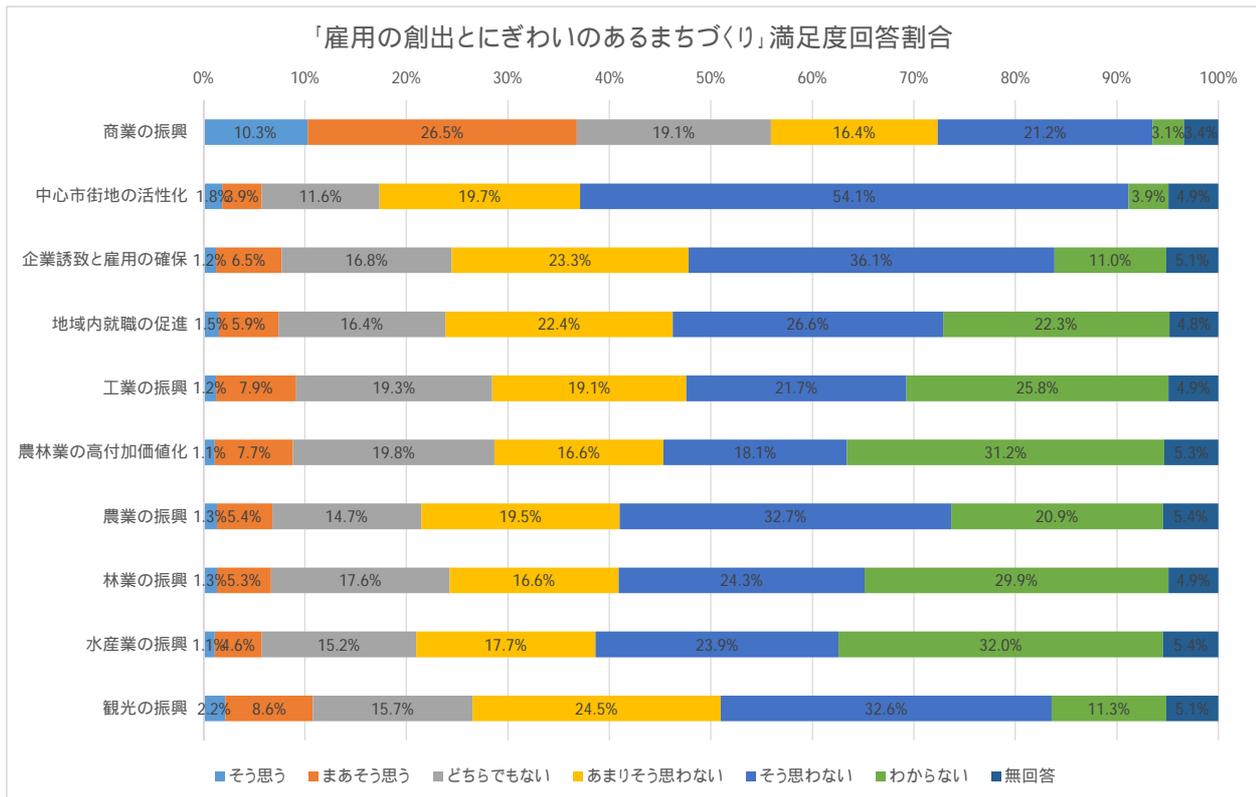
2 各施策ごとの満足度・重要度の回答割合



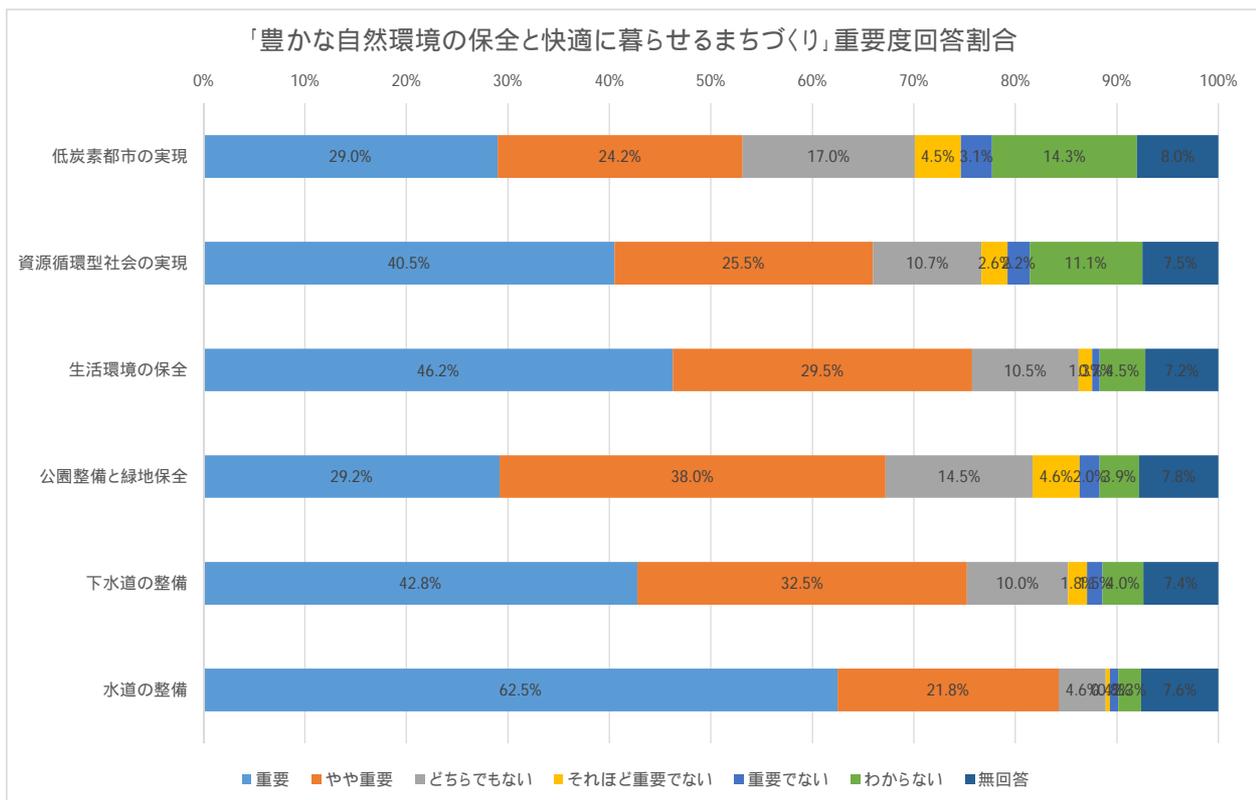
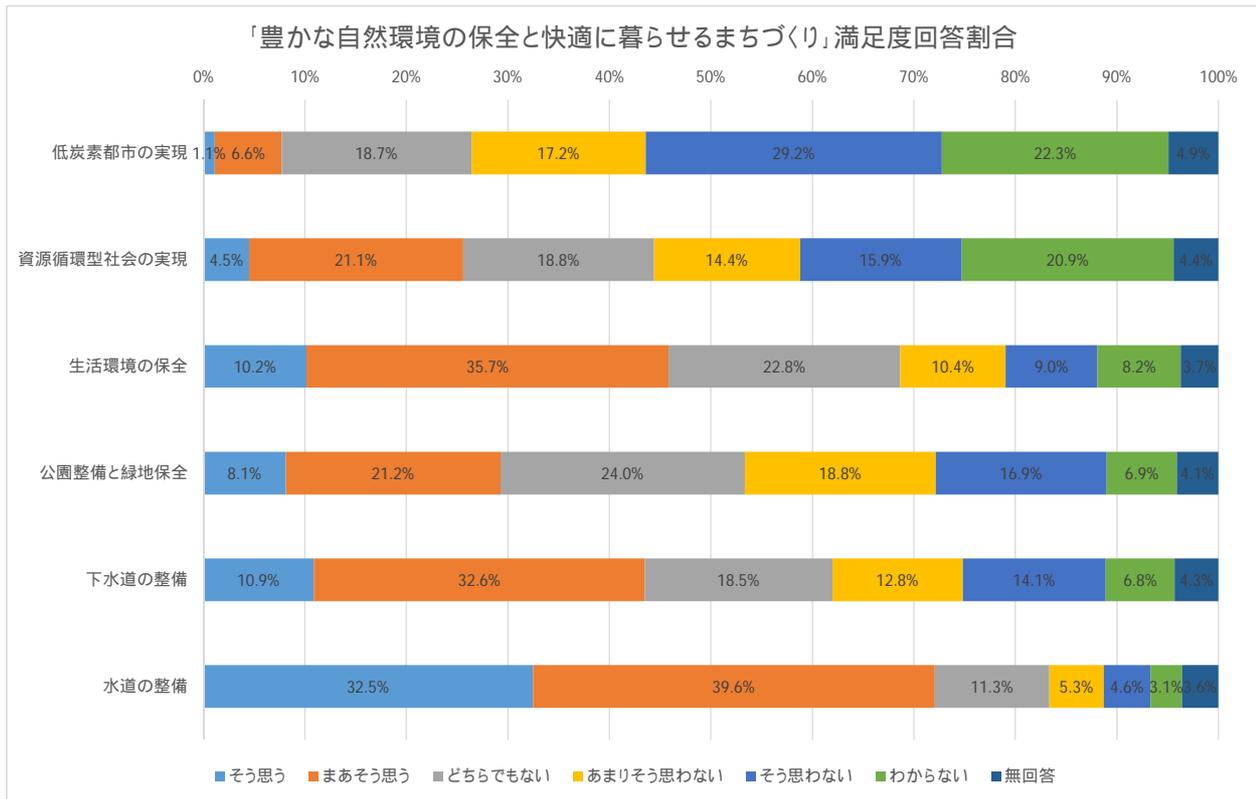
2 各施策ごとの満足度・重要度の回答割合



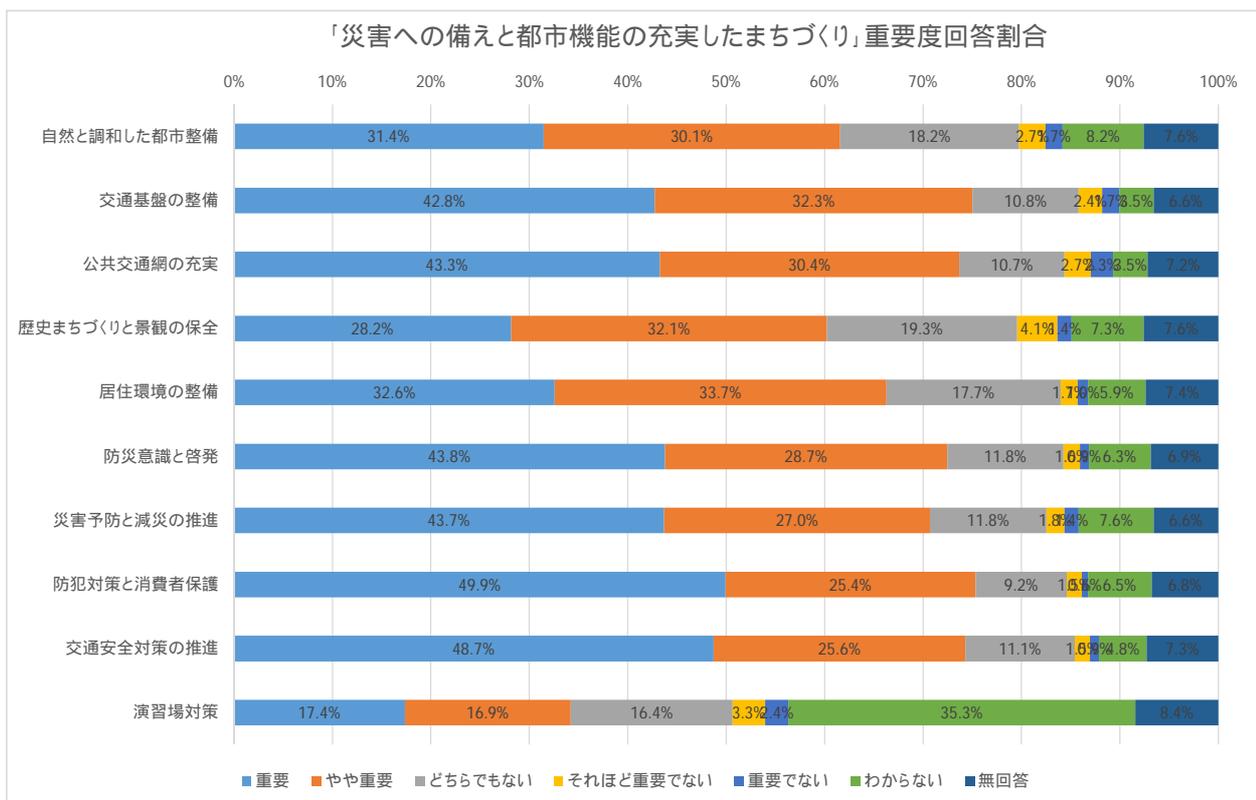
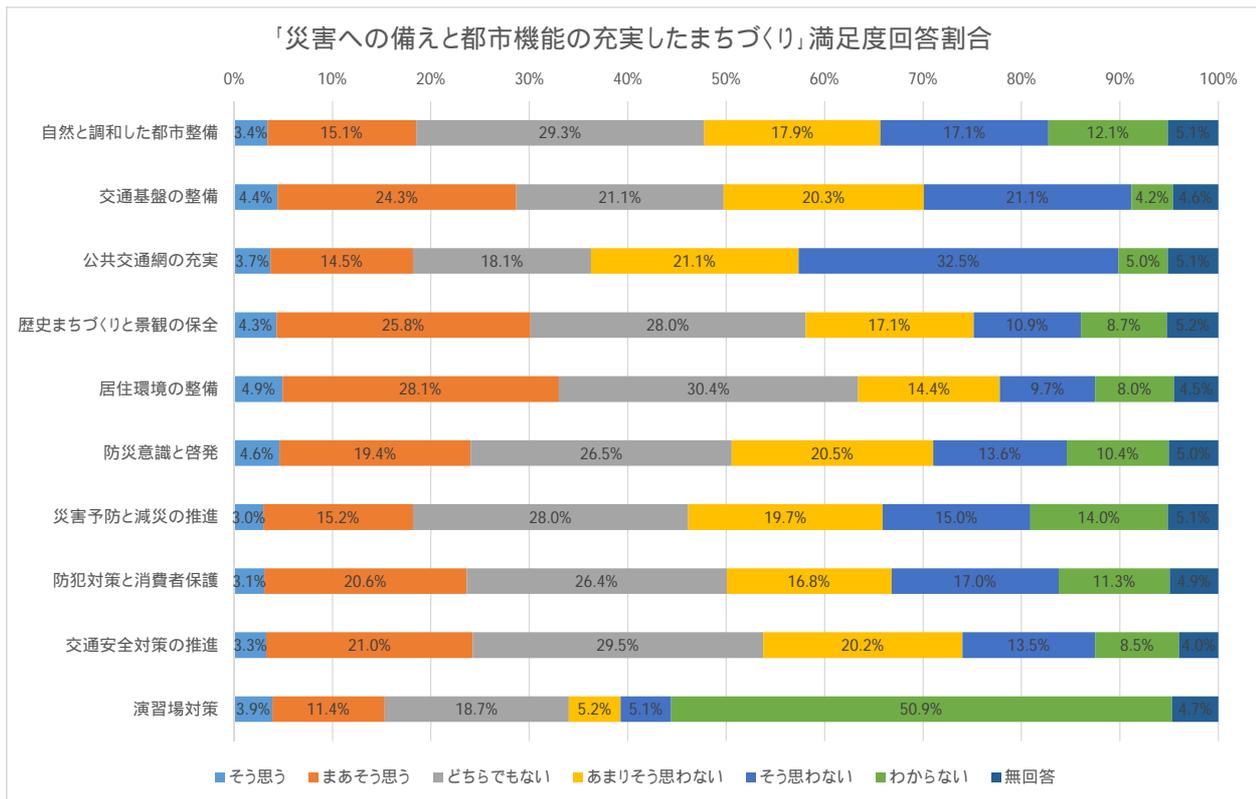
2 各施策ごとの満足度・重要度の回答割合



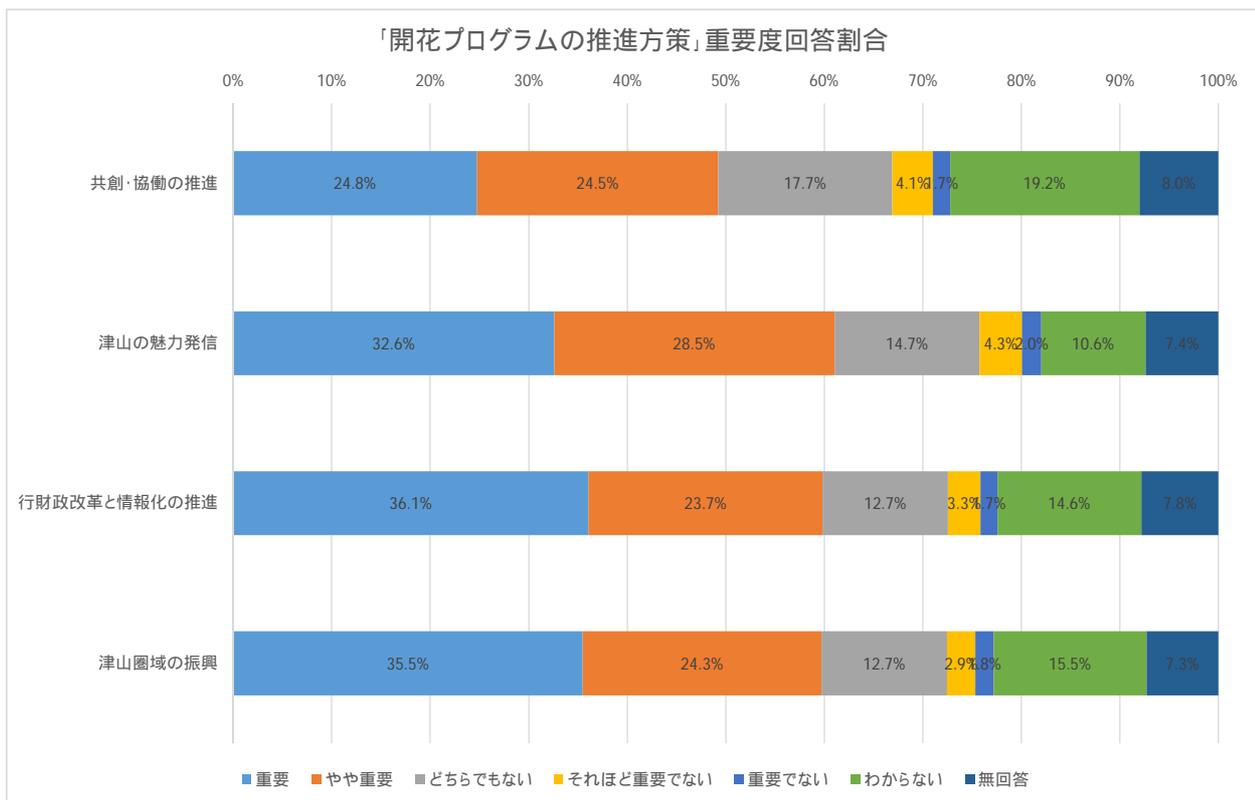
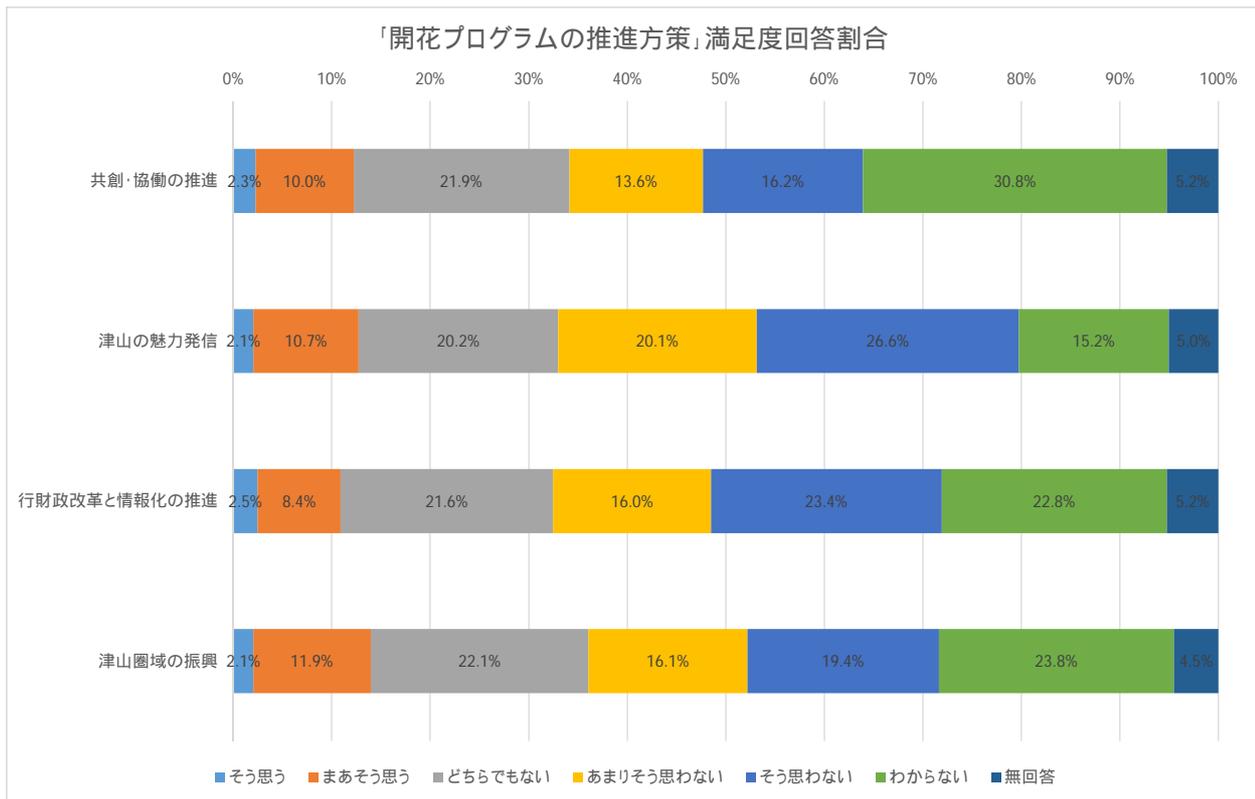
2 各施策ごとの満足度・重要度の回答割合



2 各施策ごとの満足度・重要度の回答割合

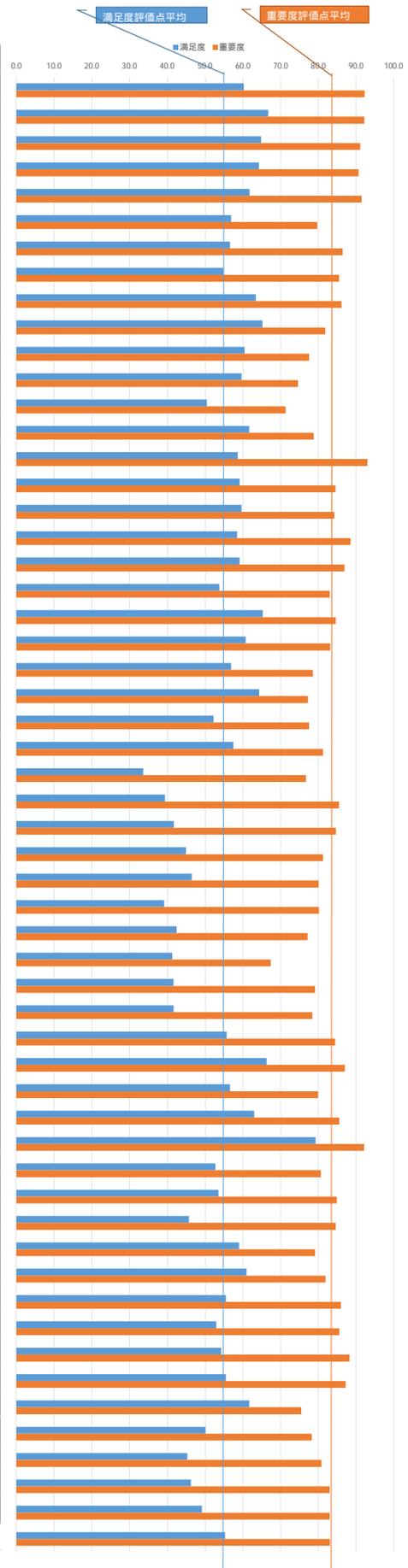


2 各施策ごとの満足度・重要度の回答割合



3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果(全ての施策)

質問番号	大分類	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度	重要度	
1	子育て環境の充実と人文化をはく(まちづくり)	子どもが健やかに育つために	子育て支援の充実	子育て支援サービスが充実している	60.2	92.2	
2			幼児教育・保育の充実	子どもが安心して幼児教育や保育を受けることができる	66.7	92.2	
3			妊娠・出産支援の充実	安心して妊娠・出産できる支援が充実している	64.8	91.1	
4			乳幼児保健の充実	子どもの健康に対する支援が充実している	64.2	90.6	
5		次代を担う子どものために	義務教育の充実	小中学校の教育内容や指導が充実し、子どもたちがイキイキと学校生活を送っている	61.8	91.5	
6			高等教育機関との連携	津山市と大学・高专との連携が図られている	56.9	79.7	
7			家庭・地域の教育力の充実	家庭と地域が連携して、子どもたちを育てる体制が整っている	56.6	86.4	
8			青少年の健全育成	地域と家庭と学校が連携して、青少年の健全育成活動が実施されている	54.9	85.5	
9		心も体も元気であるために	教育環境の充実	小中学校の施設は、子どもたちにやさしい施設になっている	63.5	86.1	
10			生涯学習環境の整備	誰もが等しく学べるよう図書館や公民館活動などが充実している	65.2	81.8	
11			スポーツ活動の充実	市民がスポーツ活動を気軽に楽しむことができる	60.4	77.5	
12			芸術文化活動の充実	講演会やコンサート、展覧会などの芸術文化活動が行われている	59.7	74.6	
13			国際交流・地域間交流の推進	外国や市外他地域の人たちの友好交流が図られている	50.5	71.3	
14			歴史・文化を守り伝えるために	郷土の歴史の継承と文化財の保存・活用	文化財や伝統文化を保護・継承し、保存・活用できている	61.7	78.8
15	健やかで安心できる支え合いの地域づくり	誰もが健康で暮らせるために	医療体制の充実	安心の医療体制が整っている	58.7	93.0	
16			健康増進の推進	からだと心の健康づくりが推進できている	59.1	84.5	
17		支え合いのまちをつくるために	地域福祉の充実	地域の住民が互いに助け合い、安心して暮らすことができる	59.7	84.2	
18			高齢者福祉の充実	高齢になっても介護サービスなどを利用して、住み慣れた地域で暮らしている	58.5	88.5	
19			障害者福祉の充実	障害者支援サービスなど、障害者福祉が充実している	59.1	87.0	
20			低所得者福祉の充実	生活に困った時、相談したり、自立を支援する体制が整っている	53.7	83.0	
21			国民健康保険事業の充実強化	国民健康保険事業の健診と、健康指導が充実している	65.2	84.6	
22			人権の尊重・平和施策の推進	一人ひとりの人権が尊重されている	60.8	83.1	
23		男女共同参画社会の実現	社会的に男女の格差がなくなり、男女共同参画が進展している	56.9	78.5		
24		市民が主役のまちをつくるために	地域活動の推進	町内会活動など、地域活動の充実が図られている	64.3	77.2	
25	共創・協働による地域力の強化		地域の担い手育成が進み、地域の支えあいなど、地域力の強化が進んでいる	52.2	77.5		
26	雇用の創出とにぎわいのあるまちになるために	経済を発展させ働き場を維持するために	商業の振興	商業施設が充実し、買い物に便利である	57.5	81.2	
27			中心市街地の活性化	中心市街地が活性化し、まちににぎわいがある	33.6	76.7	
28			企業誘致と雇用の確保	自分の能力を活かせる企業が誘致され、働け場所が多様で、雇用の確保できている	39.4	85.5	
29			地域内就職の促進	・J・リターンへの支援や就職情報の提供がなされ、地元企業への就職が促進されている	41.7	84.7	
30		ずっと続けていける農林水産業のために	工業の振興	ものづくりの支援が充実し、企業誘致や新産業の創出が行われている	45.0	81.2	
31			農林業の高付加価値化	農林業の二次産業化や農工商連携など、農林産物の付加価値を高める取り組みが進んでいる	46.5	80.1	
32			農業の振興	農業の担い手が育成、確保され、農地が有効に利用されている	39.2	80.2	
33			林業の振興	地域資源の利用を促進し、森林資源が有効に循環利用されている	42.5	77.1	
34			水産業の振興	各種イベントを通じて、地元産川魚の消費拡大が図られている	41.2	67.4	
35			魅力発信できるまちになるために	観光の振興	観光資源やイベントが充実しており、本市に多くの観光客が訪れている	41.6	79.2
36	豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	豊かな環境を次世代に残すために	低炭素都市の実現	地球温暖化防止のための施策が充実し、市民への意識高揚が図られている	41.7	78.4	
37			資源循環型社会の実現	廃棄物の安全な処理と、資源循環型社会の実現が図られている	55.7	84.5	
38		心地よく生活するために	生活環境の保全	公害の少ない快適な生活環境が保たれている	66.3	87.0	
39			公園整備と緑地保全	公園が快適に利用でき、身近な緑地が保全されている	56.6	79.9	
40			下水道の整備	下水道や合併処理浄化槽の整備が進み、生活環境が向上している	63.0	85.5	
41			水道の整備	いつでも安全でおいしい水を飲むことができる	79.3	92.1	
42			災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	自然と調和した都市整備	豊かな自然と都市が調和した土地利用ができ、地域の特徴を生かしたまちづくりがされている	52.7	80.6
43				交通基盤の整備	円滑な交通が確保され、安全で快適な道路整備が進んでいる	53.6	84.9
44	公共交通網の充実	誰もが利用しやすい便利な公共交通網が整備されている		45.7	84.6		
45	歴史まちづくりと景観の保全	歴史と文化を活かしたまちづくりを推進し、美しい景観を保全できている		59.0	79.1		
46	居住環境の整備	良好な居住環境が整備されている		61.0	81.9		
47	災害に強くなるために	防災意識と啓発		防災体制が整備され、市民の防災意識の向上が図られている	55.5	86.0	
48	災害予防と減災の推進	防災・減災対策が進み、災害予防がされている		52.9	85.6		
49	安心して暮らせるために	犯罪対策と消費者保護		犯罪や消費者被害の心配が少ないまちづくりがされている	54.3	88.2	
50	大綱の推進方策	交通安全対策の推進	交通安全対策が進み、交通事故の少ない安全なまちづくりがされている	55.5	87.2		
51		演習場対策	日本原演習場の対策が図られている	61.7	75.5		
52		共創・協働の推進	市民と行政による共創・協働のまちづくりが推進できている	50.1	78.2		
53		津山の魅力発信	津山の良さが効果的に発信され、魅力度アップにつながっている	45.3	80.8		
54		行政改革と情報化の推進	行政改革が行われ、組織の活性化と確実な市民対応がされている	46.2	83.0		
55	圏域の一体的な発展のために	津山圏域の振興	県北の拠点都市として、圏域との一体的な振興が図られている	49.1	83.0		
			全体平均点	55.3	83.1		



3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果

大綱名：「子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり」

1 満足度と重要度

	満足度	重要度
大綱別平均点	60.5点	84.2点
全体平均との差	5.2点	1.2点
満足度の高い施策	1位 66.7点 幼児教育・保育の充実、2位 65.2点 生涯学習環境の整備	
満足度の低い施策	1位 50.5点 国際交流、地域間交流の推進、2位 54.9点 青少年の健全育成	
分析・考察	「子育て環境等」についての市民の満足度は、60.5点であり、全体の平均点よりも高い評価点である。重要度は、84.2点であり、子育て・教育施策、環境の整備充実についての市民の関心度の高さがうかがえる。	

2 満足度・重要度との比較

満足度と重要度の差が最も大きな施策

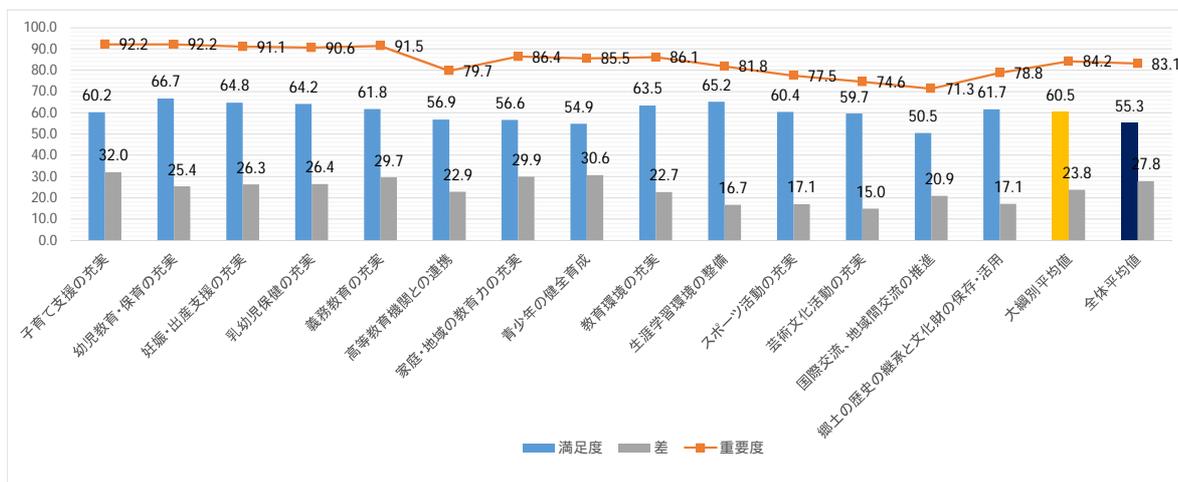
子育て支援の充実	32.0点
----------	-------

満足度と重要度の差が最も小さな施策

芸術文化活動の充実	15.0点
-----------	-------

3 集計結果

質問番号	大綱	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度	重要度	差
1	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	子どもが健やかに育つために	子育て支援の充実	子育て支援サービスが充実している	60.2	92.2	32.0
2			幼児教育・保育の充実	子どもが安心して幼児教育や保育を受けることができる	66.7	92.2	25.4
3			妊娠・出産支援の充実	安心して妊娠・出産できる支援が充実している	64.8	91.1	26.3
4			乳幼児保健の充実	子どもの健康に対する支援が充実している	64.2	90.6	26.4
5		次代を担う子どものために	義務教育の充実	小中学校の教育内容や指導が充実し、子どもたちがイキイキと学校生活を送っている	61.8	91.5	29.7
6			高等教育機関との連携	津山市と大学・高専との連携が図られている	56.9	79.7	22.9
7			家庭・地域の教育力の充実	家庭と地域が連携して、子どもたちを育てる体制が整っている	56.6	86.4	29.9
8			青少年の健全育成	地域と家庭と学校が連携して、青少年の健全育成活動が実施されている	54.9	85.5	30.6
9		心も体も元気であるために	教育環境の充実	小中学校の施設は、子どもたちにやさしい施設になっている	63.5	86.1	22.7
10			生涯学習環境の整備	誰もが等しく学べるよう図書館や公民館活動などが充実している	65.2	81.8	16.7
11			スポーツ活動の充実	市民がスポーツ活動を気軽に楽しむことができる	60.4	77.5	17.1
12			芸術文化活動の充実	講演会やコンサート、展覧会などの芸術文化活動が行われている	59.7	74.6	15.0
13		歴史・文化を守り伝えるために	国際交流、地域間交流の推進	外国や市外他地域の人たちとの友好交流が図られている	50.5	71.3	20.9
14			郷土の歴史の継承と文化財の保存・活用	文化財や伝統文化を保護・継承し、保存・活用できている	61.7	78.8	17.1
			大綱別平均値	大綱別平均値	60.5	84.2	23.8
			全体平均値	全体平均値	55.3	83.1	27.8



3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果

大綱名:「健やかで安心できる支え合いの地域づくり」

1 満足度と重要度

	満足度	重要度
大綱別平均点	58.9点	83.7点
全体平均との差	3.6点	0.7点
満足度の高い施策	1位 65.2点 国民健康保険事業の充実強化、2位 64.3点 地域活動の推進	
満足度の低い施策	1位 52.2点 共創・協働による地域力の強化、2位 53.7点 低所得者福祉の充実	
分析・考察	全体的な市民の満足度は、「共創・協働による地域力の強化」、「低所得者福祉の充実」は、全体の平均より、低い が、他の施策の評価は、高い。「医療体制の充実」の重要度は、特に高い評価である。	

2 満足度・重要度との比較

満足度と重要度の差が最も大きな施策

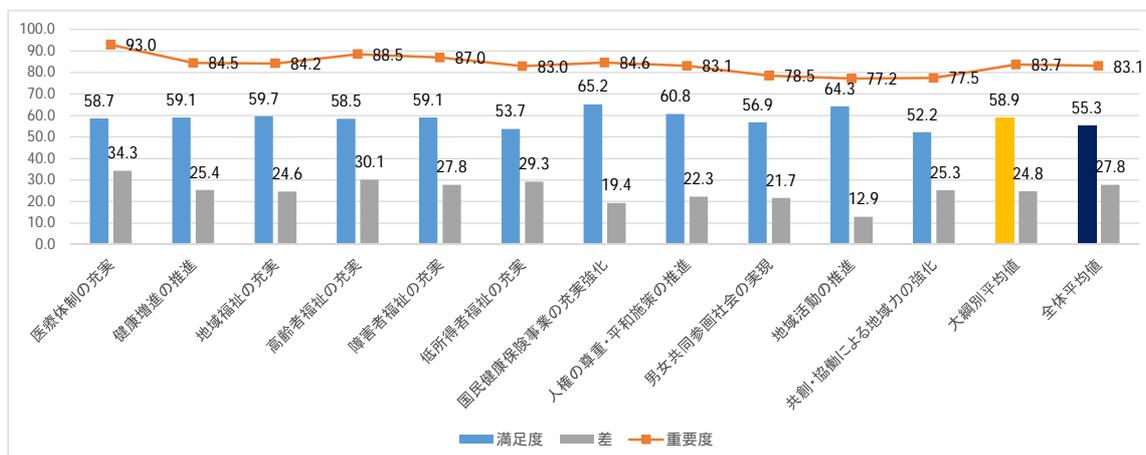
医療体制の充実	34.3点
---------	-------

満足度と重要度の差が最も小さな施策

地域活動の推進	12.9点
---------	-------

3 集計結果

質問番号	大綱	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度	重要度	差	
15	健やかで安心できる支え合いの地域づくり	誰もが健康で暮らせるために	医療体制の充実	安心の医療体制が整っている	58.7	93.0	34.3	
16			健康増進の推進	からだと心の健康づくりが推進できている	59.1	84.5	25.4	
17		支え合いのまちをつくるために	地域福祉の充実	地域の住民が互いに助け合い、安心して暮らすことができている	59.7	84.2	24.6	
18			高齢者福祉の充実	高齢になっても介護サービスなどを利用して、住み慣れた地域で暮らし続けることができている	58.5	88.5	30.1	
19			障害者福祉の充実	障害者支援サービスなど、障害者福祉が充実している	59.1	87.0	27.8	
20			低所得者福祉の充実	生活に困った時、相談したり、自立を支援する体制が整っている	53.7	83.0	29.3	
21			国民健康保険事業の充実強化	国民健康保険事業の健診と、健康指導が充実している	65.2	84.6	19.4	
22			人権の尊重・平和施策の推進	一人ひとりの人権が尊重されている	60.8	83.1	22.3	
23			男女共同参画社会の実現	社会的に男女の格差がなくなり、男女共同参画が進んでいる	56.9	78.5	21.7	
24		市民が主役のまちをつくるために	地域活動の推進	町内会活動など、地域活動の充実が図られている	64.3	77.2	12.9	
25			共創・協働による地域力の強化	地域の担い手育成が進み、地域の支えあいなど、地域力の強化が進んでいる	52.2	77.5	25.3	
				大綱別平均値	大綱別平均値	58.9	83.7	24.8
				全体平均値	全体平均値	55.3	83.1	27.8



3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果

大綱名:「雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり」

1 満足度と重要度

	満足度	重要度
大綱別平均点	42.8点	79.3点
全体平均との差	-12.5点	-3.8点
満足度の高い施策	1位 57.5点 商業の振興(他の施策は、評価点が平均点より低いので、高い施策と言えない。)	
満足度の低い施策	1位 33.6点 中心市街地の活性化、2位 39.2点 農業の振興	
分析・考察	全体平均点よりも12.5点低く、全体的な市民の満足度は低い。唯一、全体の平均点を上回っている「商業の振興」についてであるが、市民の意見の多くに「スーパーが多く買い物に便利」というものがあり、この点が、満足度のアップにつながっていると思われる。経済を发展させ働く場を維持するための施策は、重要度と満足度との差が大きく、取り組むべき課題である。	

2 満足度・重要度との比較

満足度と重要度の差が最も大きな施策

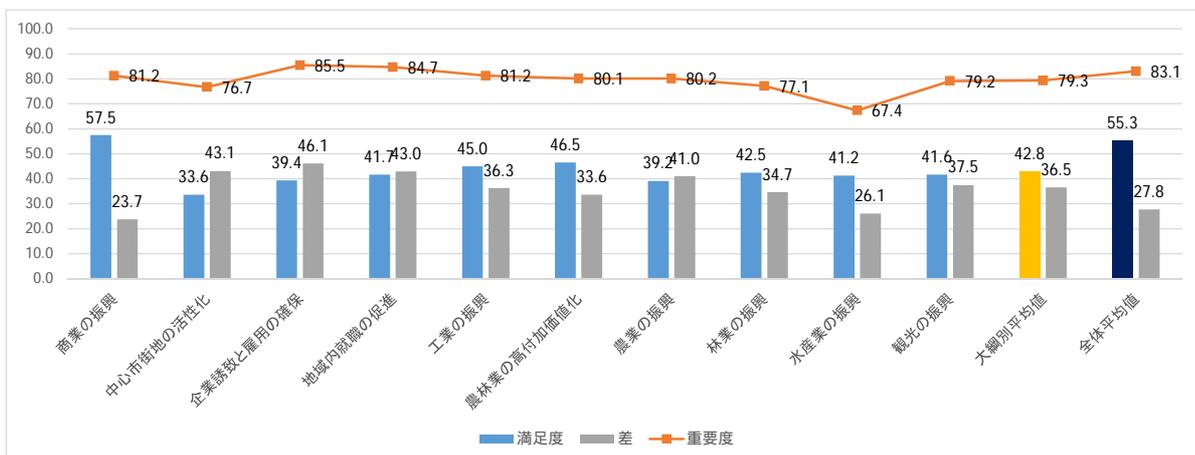
企業誘致と雇用の確保	46.1点
------------	-------

満足度と重要度の差が最も小さな施策

商業の振興	23.7点
-------	-------

3 集計結果

質問番号	大綱	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度	重要度	差
26	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	経済を发展させ働く場を維持するために	商業の振興	商業施設が充実し、買い物に便利である	57.5	81.2	23.7
27			中心市街地の活性化	中心市街地が活性化し、まちににぎわいがある	33.6	76.7	43.1
28			企業誘致と雇用の確保	自分の能力を活かせる企業が誘致され、働く場が多様で、雇用の場が確保できている	39.4	85.5	46.1
29			地域内就職の促進	・J・Uターンの支援や就職情報の提供がなされ、地元企業への就職が促進されている	41.7	84.7	43.0
30			工業の振興	ものづくりの支援が充実し、企業誘致や新産業の創出が行われている	45.0	81.2	36.3
31		ずっと続けていける農林水産業のために	農林業の高付加価値化	農林業の6次産業化や農商工連携など、農林産物の付加価値を高める取り組みが進んでいる	46.5	80.1	33.6
32			農業の振興	農業の担い手が育成、確保され、農地が有効に利用されている	39.2	80.2	41.0
33			林業の振興	地域資源の利用を促進し、森林資源が有効に循環利用されている	42.5	77.1	34.7
34			水産業の振興	各種イベントを通して、地元産川魚の消費拡大が図られている	41.2	67.4	26.1
35			魅力発信できるまちになるために	観光の振興	観光資源やイベントが充実しており、本市に多くの観光客が訪れている	41.6	79.2
				大綱別平均値	大綱別平均値	42.8	79.3
			全体平均値	全体平均値	55.3	83.1	27.8



3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果

大綱名：「豊かな自然環境の保全と快適にお暮らせるまちづくり」

1 満足度と重要度

	満足度	重要度
大綱別平均点	60.4点	84.6点
全体平均との差	5.1点	1.5点
満足度の高い施策	1位 79.3点 水道の整備、2位 66.3点 生活環境の保全	
満足度の低い施策	1位 41.7点 低炭素都市の実現、2位 55.7点 資源循環型社会の実現	
分析・考察	「低炭素都市の実現」の満足度は、全体平均点より評価点が低いうえに、重要度との差が最も大きな施策であり、課題として捉えられていると思われる。「水道の整備」、「生活環境の保全」についての評価点は高く、快適な生活環境が保たれているという評価である。	

2 満足度・重要度との比較

満足度と重要度の差が最も大きな施策

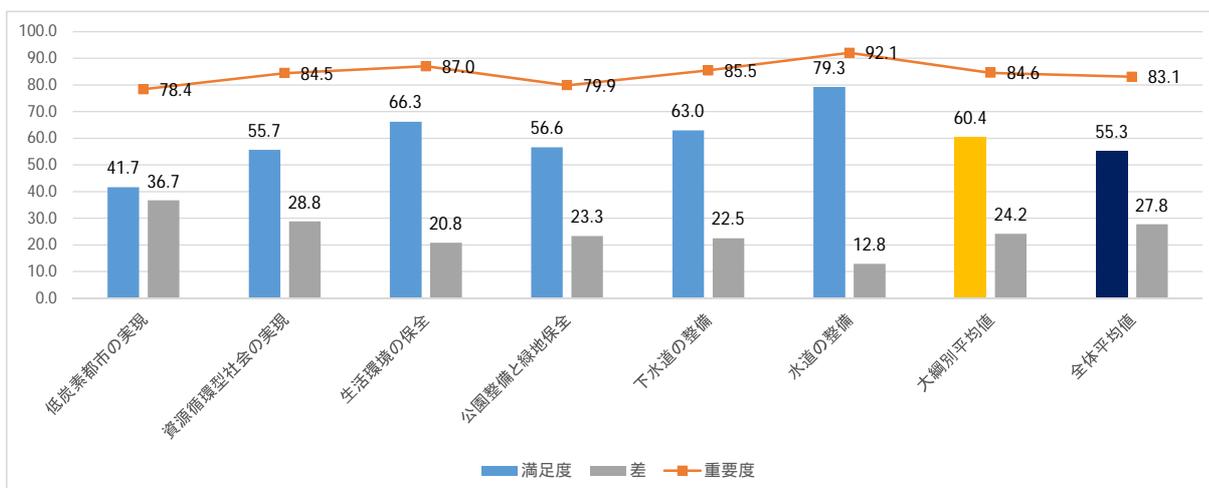
低炭素都市の実現	36.7点
----------	-------

満足度と重要度の差が最も小さな施策

水道の整備	12.8点
-------	-------

3 集計結果

質問番号	大綱	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度	重要度	差
36	豊かな自然環境の保全と快適にお暮らせるまちづくり	豊かな環境を次世代に残すために	低炭素都市の実現	地球温暖化防止のための施策が充実し、市民への意識高揚が図られている	41.7	78.4	36.7
37			資源循環型社会の実現	廃棄物の安全な処理と、資源循環型社会の実現が図られている	55.7	84.5	28.8
38		心地よく生活するために	生活環境の保全	公害の少ない快適な生活環境が保たれている	66.3	87.0	20.8
39			公園整備と緑地保全	公園が快適に利用でき、身近な緑地が保全されている	56.6	79.9	23.3
40			下水道の整備	下水道や合併処理浄化槽の整備が進み、生活環境が向上している	63.0	85.5	22.5
41			水道の整備	いつでも安全でおいしい水を飲むことができる	79.3	92.1	12.8
			大綱別平均値	大綱別平均値	60.4	84.6	24.2
			全体平均値	全体平均値	55.3	83.1	27.8



3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果

大綱名：「災害の備えと都市機能の充実したまちづくり」

1 満足度と重要度

	満足度	重要度
大綱別平均点	55.2点	83.4点
全体平均との差	-0.1点	0.3点
満足度の高い施策	1位 演習場対策 61.7点、2位 61.0点 居住環境の整備	
満足度の低い施策	1位 45.7点 公共交通網の充実、2位 52.7点 自然と調和した都市整備	
分析・考察	都市基盤の整備についての評価は、居住環境については、及第点であるが、交通基盤、公共交通の充実については、全体平均点よりも低い評価である。また、防災、防犯、交通安全については、重要度と満足度の差が30ポイントを超えており、強化、充実を求めているという結果となった。	

2 満足度・重要度との比較

満足度と重要度の差が最も大きな施策

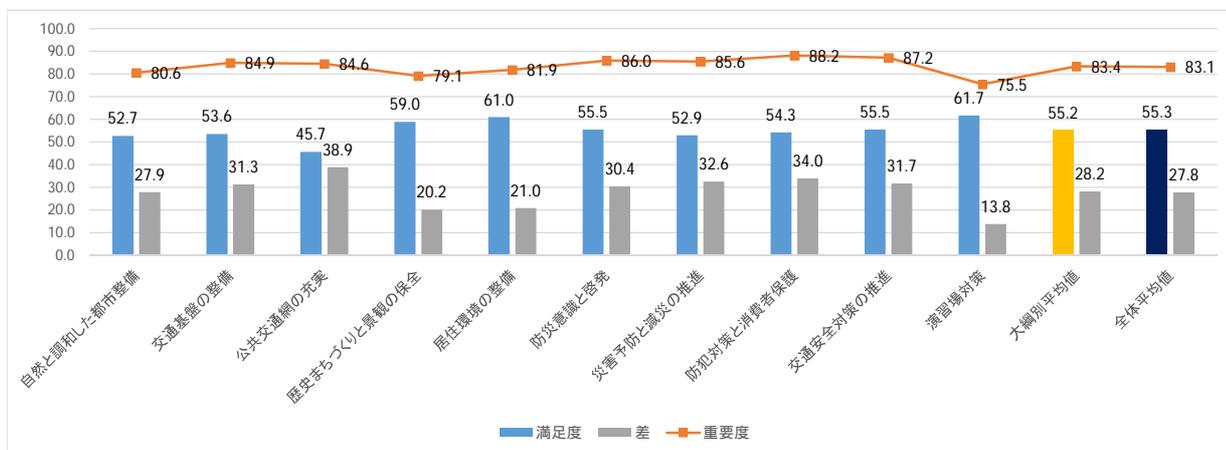
公共交通網の充実	38.9点
----------	-------

満足度と重要度の差が最も小さな施策

演習場対策	13.8点
-------	-------

3 集計結果

質問番号	大綱	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度	重要度	差
42	災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	快適な都市環境をつくるために	自然と調和した都市整備	豊かな自然と都市が調和した土地利用ができ、地域の特徴を生かしたまちづくりができています	52.7	80.6	27.9
43			交通基盤の整備	円滑な交通が確保され、安全で快適な道路整備が進んでいます	53.6	84.9	31.3
44			公共交通網の充実	誰もが利用しやすい便利な公共交通網が整備されています	45.7	84.6	38.9
45			歴史まちづくりと景観の保全	歴史と文化を活かしたまちづくりを推進し、美しい景観を保全できています	59.0	79.1	20.2
46			居住環境の整備	良好な居住環境が整備されています	61.0	81.9	21.0
47		災害に強くなるために	防災意識と啓発	防災体制が整備され、市民の防災意識の向上が図られています	55.5	86.0	30.4
48			災害予防と減災の推進	防災・減災対策が進み、災害予防ができています	52.9	85.6	32.6
49		安心して暮らせるために	防犯対策と消費者保護	犯罪や消費者被害の心配が少ないまちづくりができています	54.3	88.2	34.0
50			交通安全対策の推進	交通安全対策が進み、交通事故の少ない安全なまちづくりができています	55.5	87.2	31.7
51			演習場対策	日本原演習場の対策が図られています	61.7	75.5	13.8
				大綱別平均値	大綱別平均値	55.2	83.4
			全体平均値	全体平均値	55.3	83.1	27.8



3 各施策ごとの満足度と重要度集計結果

大綱名:「開花プログラムの大綱の推進方策」

1 満足度と重要度

	満足度	重要度
大綱別平均点	47.7点	81.2点
全体平均との差	-7.6点	-1.8点
満足度の高い施策	全て全体平均点を下回っており、満足度の高いものはない。	
満足度の低い施策	全て全体平均点を下回っており、満足度は低い。	
分析・考察	全体的に満足度は低く、情報公開あるいは協働、また、津山圏域の一体的な発展に対し、不十分であるという評価である。一方で、重要度は高く、市政推進に対する市民の意識の高さが表れている。	

2 満足度・重要度との比較

満足度と重要度の差が最も大きな施策

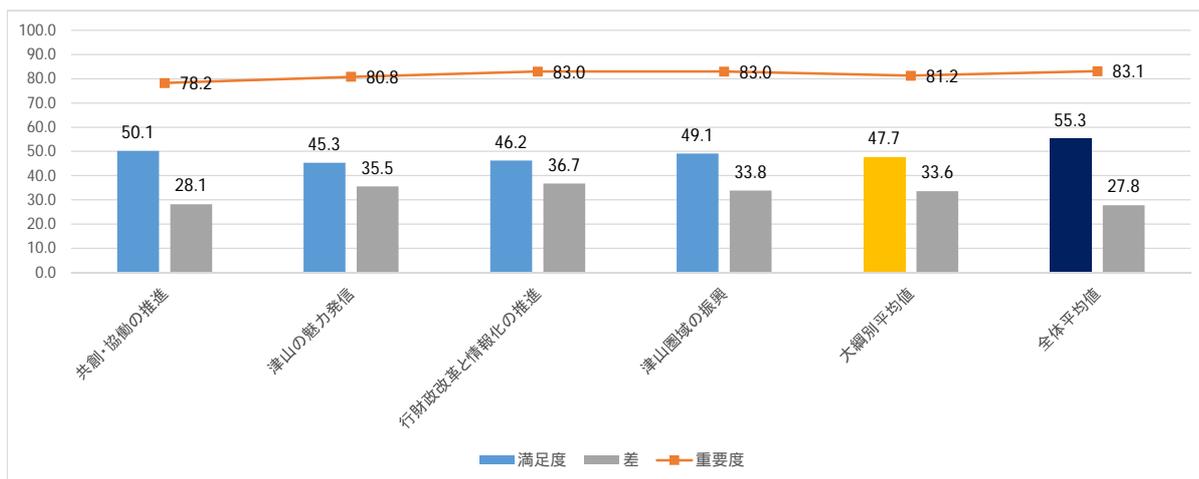
行財政改革と情報化の推進	36.7点
--------------	-------

満足度と重要度の差が最も小さな施策

共創・協働の推進	28.1点
----------	-------

3 集計結果

質問番号	大綱	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度	重要度	差
52	大綱の推進方策	効率的な市政を推進するために	共創・協働の推進	市民と行政による共創・協働のまちづくりが推進できている	50.1	78.2	28.1
53			津山の魅力発信	津山の良さが効果的に発信され、魅力度アップにつながっている	45.3	80.8	35.5
54			行財政改革と情報化の推進	行財政改革が行われ、組織の活性化と確実で速やかな市民対応ができている	46.2	83.0	36.7
55		圏域の一体的な発展のために	津山圏域の振興	県北の拠点都市として、圏域との一体的な振興が図られている	49.1	83.0	33.8
			大綱別平均値	大綱別平均値	47.7	81.2	33.6
			全体平均値	全体平均値	55.3	83.1	27.8



4 満足度・重要度の評価点の比較と差

(1) 満足度の順位

トップ5

質問番号	大分類	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度
41	豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	心地よく生活するために	水道の整備	いつでも安全でおいしい水を飲むことができる	79.3
2	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	子どもが健やかに育つために	幼児教育・保育の充実	子どもが安心して幼児教育や保育を受けることができる	66.7
38	豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	心地よく生活するために	生活環境の保全	公害の少ない快適な生活環境が保たれている	66.3
21	健やかで安心できる支え合いの地域づくり	支え合いのまちをつくるために	国民健康保険事業の充実強化	国民健康保険事業の健診と、健康指導が充実している	65.2
10	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	心も体も元気であるために	生涯学習環境の整備	誰もが等しく学べるよう図書館や公民館活動などが充実している	65.2
3	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	子どもが健やかに育つために	妊娠・出産支援の充実	安心して妊娠・出産できる支援が充実している	64.8

ボトム5

質問番号	大分類	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	満足度
27	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	経済を発展させ働く場を維持するために	中心市街地の活性化	中心市街地が活性化し、まちににぎわいがある	33.6
32	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	ずっと続けていける農林水産業のために	農業の振興	農業の担い手が育成、確保され、農地が有効に利用されている	39.2
28	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	経済を発展させ働く場を維持するために	企業誘致と雇用の確保	自分の能力を活かせる企業が誘致され、働く場が多様で、雇用の場が確保できている	39.4
34	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	ずっと続けていける農林水産業のために	水産業の振興	各種イベントを通じて、地元産川魚の消費拡大が図られている	41.2
35	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	魅力発信できるまちになるために	観光の振興	観光資源やイベントが充実しており、本市に多くの観光客が訪れている	41.6

(2) 重要度の順位

トップ5

質問番号	大分類	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	重要度
15	健やかで安心できる支え合いの地域づくり	誰もが健康で暮らせるために	医療体制の充実	安心の医療体制が整っている	93.0
1	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	子どもが健やかに育つために	子育て支援の充実	子育て支援サービスが充実している	92.2
2	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	子どもが健やかに育つために	幼児教育・保育の充実	子どもが安心して幼児教育や保育を受けることができる	92.2
41	豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	心地よく生活するために	水道の整備	いつでも安全でおいしい水を飲むことができる	92.1
5	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	次代を担う子どものために	義務教育の充実	小中学校の教育内容や指導が充実し、子どもたちがイキイキと学校生活を送っている	91.5

ボトム5

質問番号	大分類	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	重要度
34	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	ずっと続けていける農林水産業のために	水産業の振興	各種イベントを通じて、地元産川魚の消費拡大が図られている	67.4
13	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	心も体も元気であるために	国際交流、地域間交流の推進	外国や市外他地域の人たちとの友好交流が図られている	71.3
12	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	心も体も元気であるために	芸術文化活動の充実	講演会やコンサート、展覧会などの芸術文化活動が行われている	74.6
51	災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	安心して暮らせるために	演習場対策	日本原演習場の対策が図られている	75.5
27	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	経済を発展させ働く場を維持するために	中心市街地の活性化	中心市街地が活性化し、まちににぎわいがある	76.7

(3) 満足度と重要度の差の順位

差の大きな施策

質問番号	大分類	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	差
28	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	経済を発展させ働く場を維持するために	企業誘致と雇用の確保	自分の能力を活かせる企業が誘致され、働く場が多様で、雇用の場が確保できている	46.1
27	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	経済を発展させ働く場を維持するために	中心市街地の活性化	中心市街地が活性化し、まちににぎわいがある	43.1
29	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	経済を発展させ働く場を維持するために	地域内就職の促進	J・Uターンの支援や就職情報の提供がなされ、地元企業への就職が促進されている	43.0
32	雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり	ずっと続けていける農林水産業のために	農業の振興	農業の担い手が育成、確保され、農地が有効に利用されている	41.0
44	災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	快適な都市環境をつくるために	公共交通網の充実	誰もが利用しやすい便利な公共交通網が整備されている	38.9

差の小さな施策

質問番号	大分類	中分類	施策名	津山市まちづくり調査内容	差
41	豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり	心地よく生活するために	水道の整備	いつでも安全でおいしい水を飲むことができる	12.8
24	健やかで安心できる支え合いの地域づくり	市民が主役のまちをつくるために	地域活動の推進	町内会活動など、地域活動の充実が図られている	12.9
51	災害への備えと都市機能の充実したまちづくり	安心して暮らせるために	演習場対策	日本原演習場の対策が図られている	13.8
12	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	心も体も元気であるために	芸術文化活動の充実	講演会やコンサート、展覧会などの芸術文化活動が行われている	15.0
10	子育て環境の充実と人と文化をはぐくむまちづくり	心も体も元気であるために	生涯学習環境の整備	誰もが等しく学べるよう図書館や公民館活動などが充実している	16.7

5 満足度・重要度相関図

施策名	記載用語	重要度	満足度
子育て支援の充実	子育て支援	92.2	60.2
幼児教育・保育の充実	幼児教育	92.2	66.7
妊娠・出産支援の充実	妊娠出産	91.1	64.8
乳幼児保健の充実	乳幼児保健	90.6	64.2
義務教育の充実	義務教育	91.5	61.8
高等教育機関との連携	高等教育機関	79.7	56.9
家庭・地域の教育力の充実	地域教育力	86.4	56.6
青少年の健全育成	青少年健全育成	85.5	54.9
教育環境の充実	教育環境	86.1	63.5
生涯学習環境の整備	生涯学習	81.8	65.2
スポーツ活動の充実	スポーツ	77.5	60.4
芸術文化活動の充実	芸術文化	74.6	59.7
国際交流、地域間交流の推進	国際交流	71.3	50.5
郷土の歴史の継承と文化財の保存・活用	歴史文化	78.8	61.7
医療体制の充実	医療	93.0	58.7
健康増進の推進	健康	84.5	59.1
地域福祉の充実	地域福祉	84.2	59.7
高齢者福祉の充実	高齢者福祉	88.5	58.5
障害者福祉の充実	障害者福祉	87.0	59.1
低所得者福祉の充実	低所得者福祉	83.0	53.7
国民健康保険事業の充実強化	国保事業	84.6	65.2
人権の尊重・平和施策の推進	人権平和	83.1	60.8
男女共同参画社会の実現	男女共同	78.5	56.9
地域活動の推進	地域活動	77.2	64.3
共創・協働による地域力の強化	地域力強化	77.5	52.2
商業の振興	商業	81.2	57.5
中心市街地の活性化	市街地活性化	76.7	33.6
企業誘致と雇用の確保	企業誘致	85.5	39.4
地域内就職の促進	就職促進	84.7	41.7
工業の振興	工業	81.2	45.0
農林業の高付加価値化	農林業付加価値	80.1	46.5
農業の振興	農業	80.2	39.2
林業の振興	林業	77.1	42.5
水産業の振興	水産業	67.4	41.2
観光の振興	観光	79.2	41.6
低炭素都市の実現	低炭素	78.4	41.7
資源循環型社会の実現	資源循環	84.5	55.7
生活環境の保全	生活環境	87.0	66.3
公園整備と緑地保全	公園緑地	79.9	56.6
下水道の整備	下水道	85.5	63.0
水道の整備	水道	92.1	79.3
自然と調和した都市整備	都市整備	80.6	52.7
交通基盤の整備	交通基盤	84.9	53.6
公共交通網の充実	公共交通	84.6	45.7
歴史まちづくりと景観の保全	環境保全	79.1	59.0
居住環境の整備	居住環境	81.9	61.0
防災意識と啓発	防災	86.0	55.5
災害予防と減災の推進	災害	85.6	52.9
防犯対策と消費者保護	防犯	88.2	54.3
交通安全対策の推進	交通安全	87.2	55.5
演習場対策	演習場	75.5	61.7
共創・協働の推進	共創協働	78.2	50.1
津山の魅力発信	魅力発信	80.8	45.3
行財政改革と情報化の推進	行財政改革	83.0	46.2
津山圏域の振興	圏域振興	83.0	49.1
全体の平均点	平均	83.1	55.3

